京城日報

十日夕刊

定價 本紙一部金二錢 一ヶ月金五拾五錢（前金）
廣告料 五號活字一行金 ...
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話

●保科子爵來鮮 主猟官子爵保科正昭氏は十日朝入港の聯絡船にて釜山著直ちに京城に向へり（釜山特電）

●七里代議士逝く 前代議士七里清介氏は九日朝大阪にて逝去せり（大阪特電）

●道長官會議

總督府にては既記の如く各道長官を召集し十五日より十八日まで總督府第二會議室に於て臨時道長官會議を開催管內狀況報告聽取の上長谷川總督の訓示ある筈にて各道長官は昨今相踵いで入京しつゝあり

●道長官入京

臨時道長官會議の爲め各道長官は十三四日の交までに何れも入京の筈なるが工藤平南道長官並に宮木全南道長官の兩氏は十三日藤川平北道長官は十一日桑原咸北道長官は十日夜入京す可く又た上林忠南道長官は母堂の訃に接し歸郷の筈なりしも道長官會議切迫の爲め之れを見合はせ夫人をして歸郷せしめたる由

●山林主任打合

各道山林主任打合會同は十日より十四日まで五日間總督府第二會議室に開催の事となれり

●農技員講習會

各道農業技術員講習會は十五日より二十一日まで一週間水原農業模範場に開催二十一日終了式擧行の筈なるが同場內女子蠶業講習所に於ても亦た同日其の終了式を執行す可し

●兒玉伯へ記念品

總督府官房其の他府內の有志は兒玉伯に對し記念品寄贈の爲め醵金中なりしが此の程三百五十圓を得たるを以て英一蝶の筆になれる花鳥屏風一幅を購入寄贈したり

●鐵道運輸成績

十二月中に於ける朝鮮鐵道運輸成績を聞くに總收入九十二萬四千八百二十三圓にして一日約三萬圓に相當し一日平均一哩收入は二十七圓九十八錢なるが其の內譯左の如し

		前年同月に比し
乘客	五五八、一八八人	九四、四五五人增
小手荷物	一、七九七、三四〇斤	三四〇、〇〇〇斤增
貨物	一七九、〇四四噸	三〇、四六九噸減
客車收入	四二二、八六九圓	[illegible]
貨車收入	四三二、八八〇圓	[illegible]
雜收入	六三、七三〇圓	[illegible]
一日一哩平均收入	二七、九八	三、一六八增

●鐵道倉庫成績

昨年十二月中に於ける鐵道局直營倉庫成績を聞くに慶山外二十一箇所に於て入庫一萬一千二百二十噸出庫七千六百九噸にして之が收入四百九十一圓なりと

●漢湖農銀增配

年四分の割 遠山支配人談

漢湖農工銀行にては既報の如く來る二十日同行樓上に於て株主總會を開催し大正五年後半期の決算案を附議する由なるが同期の成績に就き遠山支配人は曰く農銀は目下整理時代に屬すと雖も幸ひに朝鮮財界を通せる稀有の金融繁忙と本支店を通せる勵とは逐次良好の成績を現はし今期の總決算に見るに貸出は三百八十一萬圓預金は百八十六萬七千餘圓を示し預金の如き之れを前期に比すれば約五十七萬圓を增加せり而して今期の純益金は約三萬一千五百圓を計上せしが右の內一萬五千七百圓を割いて固定貸の銷却を行ない殘額一萬五千七百餘圓を利益として計上乃ち之れを前期の利益金七千九百圓に比すれば約二倍に上れり從つて今期の配當は株主の要望もあり旁々前期の三分に一分を增し年四分の割になす事に略ぼ決定次季は尚ほ一分の增配をなし得る見込也又積立金は今期に約四千圓を充當し後期繰越しは二千四百圓となるべし尚ほ支店中最も好成績なりしは太田清州鳥致院等也き

●發起人引受株

朝鮮製糖株式會社

平壤鎭南浦の有志に對し朝鮮製糖株式會社發起人參加勸誘的指定は既報の如く板倉益太郎、宮川五郎三郎、大橋恒藏（以上平壤）西崎鶴太郎、中村辰五郎、富田儀作（以上鎭南浦）の六氏なるが其後南浦は三氏とも發起人たるを承諾し其の引受株は西崎、富田兩氏各百株中村氏二百株以上なるべく平壤の板倉、宮川兩氏は都合ありて謝絕し大橋氏は去る七日發起人を承諾し百株應募の申込みをなせり最も當初平壤に於ては前記三氏の指定は單に募株勸誘の相談役たるもの〻如く解釋し淺井、山根、林三氏も發起人參加の意向なりしが問合の結果として右は發起人たるべく勸誘的指定せるものなりとの次第に三氏は全く斷念し尙ほ同會社は東京市日本橋區蠣殼町三丁目十二番地大日本製糖株式會社出張所內に假事務所を設置したり（平壤）

●商業會議所移轉

京城商業會議所の現事務所は兩三年前京城學校組合より借受け使用し來りたるものなるが會議所も早晚立退を餘儀無くせらるゝことを豫期し內々事務所の移轉問題に付て協議中の處若し假りに新築するとせば少なくも二三萬圓の費用を要するを以て會議所現在の財力としては到底其負擔に耐へ難きものなりとして荏苒今日に及びたるものなるが愈々來年度より京城府は土木係の事務膨脹に伴ひ事務室に狹隘を告ぐるに至れるため止むなく會議所の移轉を要求するに至りたれば兩者の間に交涉の結果明治町元漢城病院を當分借入れ使用することに略ぼ決定したり借家料の金額に付ては近く開會する役員會及び總會に於て來年度豫算に計上し承認を求め決定せば二月頃移轉を見るに至るべしと

●五年仁川貿易額

仁川稅關に於ける大正五年中輸移出入總額は二千四百五十二萬八千四百八圓にして四年中に比し三百五十六萬三千八百五十三圓增なり此れ輸移出に於ては著しく減少したるも輸移入に於て非常の增額を來たる者なり因に同稅關群山支署の貿易額は七百六十三萬二百四十二圓にして同年半期迄は內地に於ける米の氣勢軟弱にして相場折合はざりしと下半期に至り船腹不足の爲め米穀の輸移出減少し四年中に比し百九十四萬圓の減を見たり京城出張所の貿易額は千六百八十二萬千七百九十六圓にして四年中に比し數量に於ては大差無きも物價騰貴の折柄金額に多大の增額を來し四年中に比し十六萬五千七百四圓の增

●平壤丸の修理

朝郵浦鹽航路に就航しゐたる平壤丸（一千二百噸）は浦鹽結氷の爲め休航し一月初旬西湖津及び元山にて大豆滿載十日大阪に入港せし由なるが定期修理の必要あり今後約二週間入渠の止むなき爲め多分月末までに出渠すべきも今後阪神對釜山航路に就くか阪神北鮮航路に就航するかは未定なりと

●荒井長官引籠

度支部長官荒井賢太郎氏は微恙の爲め八日來引籠療養中なり

●中井氏歡迎會

中井喜太郎氏入京の爲め舊知有志は十一日午後六時より千代本に氏の歡迎會を開く事となれり

●大倉組の鮮滿發展

著々經營方針を進むべし

大倉喜七郎氏談

入京中の大倉組主大倉喜八郎氏令息喜七郎氏は朝鮮ホテルに訪ふ其の談に曰く

▲大倉と朝鮮鑛業 大倉組で採掘經營してゐる朝鮮の鑛山は目下の所黃海道秀延金鑛のみである併し朝鮮の鑛業は將來有望のものと觀取し從來種々調査と研究を積んで來たが今回予の入京により朝鮮鑛山經營に關する大倉組の方針を新に樹立した其の內容は何れ近く公表する筈だが大體に於て積極的の方針を執り資金の放下をなす事並に世上よく聞ゆる大資本家——自分でかく云ふのも可笑しいが——の小資本家を壓迫すると云ふやうな批難を出さない經營を行ふ積りである發表の時期は多分予の本溪湖に於ける要務を果した歸途京城に立寄つた時京城日報により之れを公にする事とならう

▲煤鐵公司擴張 予の此行の主要目的は大倉組の主として經營する日支事業本溪湖煤鐵公司の擴張並に株主總會に列席する爲めである、從來煤鐵公司は五百十五萬圓の資本で經營し年額五萬噸の銑鐵を製出してゐたが今回運轉資金三百五十萬圓を增加し合せて八百六十五萬圓に殖し本年から十萬噸乃至倍額の銑鐵を得べく擴張するのである、資金の增加も日支合辦事業なれど均しく兩國當株主に割當て又は兩國人間に募集する等の事は色々の事情が之を許さぬから這回增資の三百五十萬圓は全部大倉組で支出し煤鐵公司の社債應募の形式により貸附くる事にした、擴張に伴ひ增設する各種の機械は之れを內地で製作し既に殆んど出來上つてゐる云々

●地方

仁川

▲楠野府尹上京 楠野府尹は十日午前十時仁川發上京各方面を歴訪の上新任の挨拶をなし二泊の後歸任の筈▲和田書記長上京 仁川商業會議所和田書記長は豫ねて認可申請中なりし燐寸會社の件に就き十日午前十時扭峴驛發上京總督府に當局を訪問▲靑年會夜學會 仁川基督教靑年會夜學會にては九日夜より開會したり▲靑年會幹事會 同會にては九日幹事會を開會穴門下庭球コートを結氷期間中スケート場に使用すべく決議二三日中に撒水スケート場を作る可し▲鮮銀總裁來仁 美濃部鮮銀總裁は十一日午後十二時發列車にて來仁仁川築港を視察の上五時より鮮銀支店に事務視察をなし同日午後五時より鮮樓に於て市內官民重立者を招待新任の披露宴をなす可しと

京元線より

鬼十生

京元沿線の冬景色。眼に觸るゝものゝ一として寂寥を感ぜしめざるは無し、河川は悉く氷結し枯木立疎らに褐色の野を彩る、田も畑も凍つて石の如し

■南大門驛より同乘せる支那人と若き英國婦人あり。この婦人他に乘客無きまゝ徒然の樣子にて頻りに余に話頭を差向けなどし、やがて婦人は洋菓子など取り出して余に勸めつゝ洋書を音讀す。その聲の嚠るが如し

■鐵原驛は流石に繁昌地。名產の炭は列車每に京城方面に搬出すと聞く構內には炭叺の堆積せるを見る關溪を越ゆれば野も山も美しき銀世界、騾を負ふて辿り行く樵夫を散見せり

■海拔千九百尺の洗浦高原は一兩日前氣溫氷點下三十度に降下せる由にて步廊に下り立てば寒風骨を斫るが如し、秋は紅葉に名高き三防の溪谿も今は全く雪に埋れて滿目荒凉、樹木の吹雪に吹き折られしを見る、されど雪景色も亦捨すべき趣あり（釋王寺にて）

◆畫界の弊風

大阪支局 S、M生

京都南禪寺畔に鈴木松年畫伯を訪ふ例に依つて氣焰萬丈現今畫界の弊風を痛罵す曰く『所謂新畫を稱せらるゝ現今の繪畫は株のやうなものだ棲鳳株、鐵齋株などは時局ものゝ新株のやうなもので表具屋骨董屋は現物仲買のやうなものだらう買占て煽つたり結託して大きな値を吹いたりする畫家も當座の金に目が暮れて之等の仲買の傀儡となり闇の夜の鳥のやうに高くとまつて得意がつてゐる目下骨董屋や表具屋が賣れるとか賣れぬとか云ふ畫家は皆一度はこの仲買の弄物になつた人々だ弄物にならぬ超然たる畫家は儲けにならぬから名を爛らない現今仲買屋の手によらずして眞の繪畫の價値によつて名を成し賣れると云ふ人は幾人あらう甚だ覺束ない事だこの仲買と結托して虛名を賣り當座の金にしやうと云ふ風が漸く盛んになつて有望な前途ある靑年畫家が見倣うて修養を怠り錬磨の途を誤るものゝ多いのは慨嘆に堪へぬ次第だ目下の所謂大家と稱せられる人々は中々容易に畫かぬが自分等は畫をかくのが好きだから隨分澤山描く今迄は糊口のために描いたが最早自分も六十九である何か後世に殘すべきものを畫かねばならぬ手の入つた密畫を描いて殘したいと思つてゐる老年だがこれだけの密畫を描いたと靑年の發奮にも價するやうなものが出來れば本望である夜は九時迄仕事をしてゐるそれから遊びに出て三時頃に歸る湯に入つて朝七時迄寢る一日三時間の睡眠だ大隈侯は百三十迄生きると云つたさうだこの睡眠時間を計算して他の人々と比較すると自分は最早百歲以上生きて仕事をしてゐる勘定になる棲鳳畫伯の嵯峨別墅の忘年會は少々驚いたね畫伯が治兵衛で夫人が小春になつて戯れ俳優を集めて遠山の雪の自畫を一枚宛呉れてやつたとかそんな事は醉餘の隱れ遊びに遣る仕事で門下生をも加へた忘年の宴席で帝室技藝員文展審査員の大藝術家として人に教へも垂るゝ身がやる事ではあるまい甚だ不謹愼である俗衆の阿諛に醉ふて常識を失したのか畫界のためにも甚だ遺憾とせねばならぬ事だ又中村雁次郎が畫伯の鼻息を窺ひ扮裝の世話を自ら遣つて光榮としてゐたと云ふ事だが彼れも一世の名優でないか雁次郎の媚をうけて得意の棲鳳氏は姑く措くも藝術家として對等の權威ある雁次郎が畫伯の雅名に媚び歡心を求むるなどは甚だ墮落したものである何にしても醜陋な話柄を殘したものだ

安州

▲經濟狀態 平安南道安州郡安州歲末經濟狀況は年末に際し金融次第に引締り又貨物停滯の爲め大豆牛皮等の輸出物に對する資金回收遲延し金融一層逼迫を告げ民間一流商人間の貸借も月二分五厘の金利騰昇を見るに至り安州農銀支店十二月末日貸出五六一一四圓にして前月末に比し二五四〇圓を增加し預金總計六五四〇五圓にして前月に比し三八〇二圓を減じたり輸移入品は年末年始用食料品雜貨金巾紡績石油燐寸等の取引行はれ食料品は前月に比し五割の增加を示し金巾紡績は二割增石油は三割の增加を示せり

平壤

▲商議定期評議員會 平壤商業會議所は九日役員會を開き六年度經費豫算及び賦課徵收規程其他を附議する筈なりしも當日は事故不參の向き多く翌十日午後二時開會に延期したるが定期評議員會は愈々來る十三日午後一時より事務所に開くべく招集狀を發せり附議事項は役員會の決議を經たる豫算案其他なり

華川

▲道路改修狀態 華川金化を經て鐵道沿線に通ずる春川平康間の道路は江原開發上最も樞要の道路なり就中華川郡は其の中部に位し百貨交通の巷となり當局は常にこれが改修の急務なるを感じ愈々客年十月下旬より先づ華川邑より春川郡鋤吾芝里間の改修に著手したるが夫役の出働宜敷を得て比較的短日を以て客年末に終了したるが解氷を待ち橋梁及び金化方面の改修に著手すべしと▲郡守昇敍披露 華川郡守金龜淵氏は舊臘二十一日附陞敍高等官七等十級俸下賜せられたるを以て六日午後四時より重なる日鮮官民三十餘名を芳川館に招待し昇級披露宴を催したり

大邱

▲學校組合會議 大邱第二尋常高等小學校建設敷地選定の件に關し大邱府廳樓上にて九日午後一時より學校組合會議を開催し種々凝議の結果元達城郡廳跡を中心とせる二千坪餘の土地が適當なりと議決し午後二時半閉會▲兵營未收醵金取集 九日午前十時大邱商業會議所にて兵營設置期成會幹事會を催し醵金未收の取集め及び陸軍より交付を受けたる建物及び陸軍用地處分の件に關し種々協議する所ありたり▲水害復舊工事 大邱より安東統營、慶州の各間及び京釜線成昌安東間、慶州襄陽間、尙州晉州間の水害復舊工事は十二月初旬より著手せしが本年三月末頃には全部竣工の見込也と

光州

▲小鹿島慈惠事務移轉 小鹿島慈惠醫院は本月末に在らざれば全部竣工せざる爲め從來院長以下何れも道廳にて事務を執りつゝありしが此程官舍及び事務室竣工せし爲め蟻川院長及び書記は七日出發同地へ赴任したり▲光松間交通困難 臘より降り出したる雪は止まず積雪一尺に及び未曾有の大雪なるが爲め光州松汀里の自動車人力車は何れも雪氷の爲め辷り危險至極なれば目下晝間の雪解け時間を利用し只一回の交通を爲すのみなれば光州松汀里兩地とも旅舘は滿員にて其他各地の交通も困難なれば商取引も從つて不自由を極めつゝあり▲聯合擊劍會 光州憲兵隊、警務部、警察署にては聯合し八日陸軍始め當日擊劍大會を催したるが寒威凜烈の折からにも不拘數十番の試合ありて後懇親會を開き散會したり▲光州義士會開會 光州義士會は客十二月十四日當日曹洞宗布敎所に開會せしが出席者五十餘名蕎麥と酒の振舞ひあり二三名士の講演終りて義士談に花を咲かせ午後十一時頃散會せしが近來の盛會なりき▲棉花相場下落 一時昂騰に昂騰を重ね居たる棉花相場は今回又々前回より三圓四十錢暴落し五十四圓八十錢となりたるを以て實棉指定價格も亦一等棉十六圓五十三錢五厘となれり▲宮木長官入京 道長官會議出席の爲め宮木長官は十三日を以て上京すべし

●安東縣より

▲東邊道尹請宴 東邊道尹方大英氏は八日午後六時より田村領事代理古藤署長井上守備隊長小林憲兵隊長其他の諸氏を道尹公署に請待して新年宴會を催せり▲屠獸場統計 安東屠獸場十二月中の成績は屠殺數牛三百七十九頭羊二百七十六頭豚七百三十三頭其他合計一千三百九十頭檢查料銀二千六百零四圓なり▲地方主任更迭 滿鐵安東地方事務所主任横田多喜助氏は今回沙河口工場勤務に榮轉後任として遼陽地方事務所主任たりし島崎好直氏七日夕刻著任せるに依り地方事務所員一同は同夜スミレに於て新舊主任の送迎宴を開けり▲古山醫學士請宴 新義州病院長古山佐十郎氏は六日夜安新兩地の新聞記者及び眤懇の人々を自邸に請待し盛んなる新年宴會を催せり▲披露と送迎會 滿鐵地方事務所新舊主任横田、島崎兩氏は九日夜當地の重なる官民數十名をスミレに請待し更迭披露宴を張りしが官民有志一同は十日夜同じくスミレにて兩氏の送迎會を開く筈▲中野氏榮轉 當地朝鮮銀行支店次席中野滋氏は今回大邱支店長に榮轉し後任として本店より野村稔一氏來任の筈なるが中野氏の赴任期は多分二十日前後なる可し

人事消息

▲李夏榮子 九日午後鐵原より歸京
▲馬永發氏（元山駐在支那領事） 九日午後仁川より入京
▲許同范氏（新義州駐在支那領事） 九日午後歸任
▲張國威氏（仁川駐在支那領事） 九日午後歸任
▲吉田蕃兵中尉（全州憲兵隊副官） 九日夜入京消光館へ
▲楠野仁川府尹 十日朝入京巴城館へ
▲谷口與四郎氏（鑛業家） 同上天眞樓へ
▲桑原咸北道長官 十日入京巴城館に投宿の筈
▲小川平吉氏（代議士） 同上
▲佐々木慶南道長官 十一日夜入京天眞樓に投宿の筈
▲前田慶南警務部長 久しく東萊溫泉に靜養中の處八日午前十時半釜山發列車にて晉州へ歸任
▲吉村慶北第二部長 歸省中の處七日夜入港對馬丸にて歸鮮同夜十一時發列車にて歸任
▲御納闘甚氏（陸軍輸送部釜山支部員） 元山出張所詰を命ぜられ九日出帆第三琴平丸にて赴任

□電報不著

東海道線電信線不通に因り東京方面電報不著の爲め本紙締切まで間に合はず

謹告 佐賀縣人諸君
本月十三日午後五時より壽町松翠樓に於て本會新年宴會相催候に付御賛同の上來る十一日正午迄に本町二丁目釘本方本會宛御申込相成度候追て會費金壹圓五拾錢當日御持參のこと
大正六年一月八日
佐賀鄉友會幹事

石炭 木炭 コークス
電話千五十一番
明治町 村山商行

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

FAMILY HOTEL
ファミリーホテル
客室 食堂 完備
市內西通入澁の場所 土地高燥眺望絕佳 庭園廣く閑靜の地 御料理西洋料理
宴會は特に御便利に取計可申候
ミセス、ボーエル改ヘシンダク、ホテル
京城南大門通三 電話二一二八番

仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話三二二番
仁川本町二丁目 十八銀行仁川支店 電話九一八番
仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電話一〇二番
仁川本町三丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話八四九番

新荷著
スイス製 クサルク 懷中時計
試驗濟
(ニッケル側)十八形(片蓋) 一圓九十錢
同 同 同 二圓五十錢
[illegible]
右は今回新著の商品にて本商會獨りの取扱品に有之他店に無き所のものに付御地方遠隔の御注文に對しても小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商
本店 京城本町二丁目 電話九七二番
イングレッシー商會

お正月の思ひ出

―（四）暑い／＼新嘉坡は煽風器の下

▽大晦日の餅を氷詰

元日の夜に大きな螢が座敷へ

冷えるマンゴスチン、温まるドリアン

―總督府外事課長久水三郎氏の談―

自慢で申す譯ではないが私がこれ迄で歩いて來たところは殆んど南亞米利加を除き足跡世界にあまねき積りで居る、朝鮮、支那は素より印度、亞弗利加、濠洲、亞米利加

◇加奈太、歐羅巴等

お正月の思ひ出ならばいろ／＼の持ち合せはある積りで居る、併し熱いところで海峽殖民地の新嘉坡のお正月なおはなしして見よう、私が彼處の領事館に駐在して居たのは去る明治三十五年頃で都合三度のお正月を迎へたことがあるが何分一年中此の平均温度八十度乃至九十度の熱帶地方であるから烏渡内地などでは

◇想像にもつかぬ

程の珍らしいお正月である、何んでもそれは新嘉坡に行つた始めての年の大晦日の事であつたが私の宅では日本流にお正月の餅を祝はうといふので搗きたての餅をお盆の上に置いたはよいが殆んど一時間も經たぬ間にすつかりドロ／＼の水になつて了つた、其處でこれではならぬといふので搗いた餅ははしから

◇硝子箱に氷詰め

にしたこともあつた、斯うして元日のお雜煮も煽風器にふかれながら夏の薄著で祝ふといふ始末、その晩は邸の周圍の椰子の葉蔭から大きな小指の先端ほどもあるやうな螢が飛んで來て座敷の裡をピカリ／＼青い光りで照らして居つた、元日の夜に螢が飛ぶのは面白いといふので私はそれを捕へて見ると身體の

◇眞白い大きな螢

で日本などでは想像もつかぬ珍種であつた、そこで私はわざ／＼東京の理科大學へ送つてやつたところ非常に珍らしがられて其の後三四百人の人から螢を送れ螢を送れと螢攻めにあつたことがあつた、それに南洋の家は皆牛小舍のやうに屋根に風通しを拵らへ吹き込んだ風は皆天井にぬける構造になつてゐる

◇座敷の裡はまた

パンカと稱する大團扇のやうなものを設け外から綱をつけてパタ／＼煽ぐのである、私共は此のパンカの下で汗を拭き／＼お雜煮を祝つたのである、それに新嘉坡では熱帶の果實

◇腹が冷へるから

こんどは腹を暖める果實でドリアンといふのをたべる、ドリアンは初めての人には鳥渡鷄卵の腐つたやうな風味がするがだん／＼馴れると殆んどドリアンの爲めに財産を抛うつ者が出來るやうになる、それに肉桂マンゴー、パイナツプル、バナ、等の珍果から高さ數丈の巨幹にぶら下る

◇南瓜大のナンカ

と稱する果物もある、それで邸園に二三本の果樹を植ゑて置くと一年に三回花をつけ實を結ぶから不自由はない、雪のない常夏の國のお正月先づは斯くの如くである

◉偽造紙幣八萬圓の賣込

▽南山公園松林中の活劇

京城に於て偽造紙幣の賣込みを名として八萬餘圓を囮として大仕掛の詐欺を企てし十二名組の山師連が本町警察署に檢擧されたる

▲近來の大事件 あり之が顚末の詳細を記さんに熊本縣天草郡早浦村生れ當時京城北米倉町荒川方居住娛業迫口佐一郎（四三）滋賀縣大津市下榮町生れ北米倉町居住鍛職荒川末吉（三八）の兩名が張本人となり鮮人を欺きて一儲けせんものと企て大正五年九月中忠南保寧郡藍浦面新興里當時北米倉町大正旅館止宿の張洪奎（三四）に對し目下大阪に於て斯の如き紙幣が莫大に偽造せられ居れりと稱し眞正の

▲日本銀行紙幣 十圓券を示したるが最初の發端にて此の作製しあるもの現に八萬五千圓許りありこは正貨七千圓を以て是が全部を買收し得る次第なるが何樣買人は無きやと巧く話し込みたるより張洪奎は直ちに南名より受取りたる偽造と稱する十圓紙幣を持ち廻りて數名に示したるに何れも疑ふものなきより然らば買人を斡旋すべしと茲に承諾し

▲七千圓の正貨 交換者を發見せば偽造紙幣七萬圓を買手に引渡し殘りの偽造紙幣一萬圓餘を三分し其の一を張は收受し其他に正貨五圓の分配を受くべく約束したり依つて張は是が交換者即ち買手を物色中豫て郷里にて知合ひなる忠南瑞山郡相城面流城里黃弼性（三八）同道禮山郡德山面上伽里金基丙（四九）同道同郡

▲瑞寧面吾南里 金甘三（四七）同道瑞山郡仁旨面毛越里成樂仁（二六）同道瑞山郡仁旨面毛越里鄭夏敎（三九）同里趙轍元（三八）同道洪城郡高道面東星里李慶源（三二）等を勸誘し同人等が其の買取をなさんと何れも調査し合計三千餘圓を携へて共に十二月二十四日入京せるに際し一方佐一郎末吉及び熊本縣下益城郡河江村當時北米倉町半田方居鍛職樂師田孝（三二）の三名は洪奎に對し偽造紙幣の

▲賣主なる大阪 商人と交渉の爲め上阪する必要ありと詐稱し旅費金百圓を要求せしより同人より十二月三日以降に前後二回に八十圓の交付を受けて騙取し三名にて之を分配し尚忠南より多數の鮮人等が大金を携帶して入京するや茲に前記張本人等は福岡縣門司市内本町二丁目生れ當時町居住の鍛冶職加次松次郎（三九）を大阪なる偽造紙幣の賣主なるが如く裝はしめ上等衣類を着用せしめて

▲紳士風こなし 今や賣主が釜山迄到着したる旨入電ありたるを以て之が出迎へをなすと稱し末吉は松次郎と共に龍山驛より南大門驛に下車するや佐一郎は更に兩名を南大門驛に出迎へて頗る勿體らしく裝ひ松次郎は大金を所持し居るもの、如く裝ひ大風呂敷包を攜帶したり然るに洪奎は忠南より入京したる買手の一團より取纏めたる正貨を以て偽造

▲紙幣こ交換す ることゝなり成るべく人目を避くべき箇所として南山公園の小松林を選び同所にて正偽兩貨の引換へをなすことゝし今や佐一郎末吉等は洪奎より三千餘圓の正貨を受取り更に松次郎が大風呂敷より偽造紙幣と稱するものを抜き出さんとする刹那豫て警察官の服裝をなしゐたる李が忽然顯れ『コラコラ』と不意に咎め立てしより居合はせたる松次郎

▲佐一郎末吉等 は大に狼狽したるが如く裝ひ受取りたる正貨を攜へたる儘其場を逃走せしものにして此事遁くも本町警察署の岸長野の兩刑事が探知し同日夕刻迄に關係者全部を取押へ悉く引致し同署に於て取調べをなしたるが今少し遲かりせば買手の鮮人等は悉く大金を騙取さるゝに至る次第なりしと因に他の者は一應釋放し張本人なる佐一郎末吉洪奎の三名のみ檢事局へ送致したり

滑れ！滑れ！　―東大門外

◉寒氣＝滿洲の冬と

京城の冬を比較して

奉天から移轉して來た某夫人談

私共は昨年の冬奉天から京城へ轉任して參りました奉天では十一月末に最早零下二十二度と云ふ寒い事もありましたので京城に參りまして大變に暖かさを感じました處が此の頃

▽二十度と云ふ寒さのお見舞を受けまして大變に驚きました

御覽の通り家は此の通りの日本建ですから如何に石炭を燃やしても額や頭が熱かくなるばかりでストーブの傍を離れるともう手足が冷たく成つて何んの仕事も出來ません、奉天の方に居る時は此れ程立派な家には居りませんでしたがそれでも家の拵へ方が宜しいものですから一寸も冬が苦になりませんでした石炭なども奉天では三箇月に一噸もあればもう

▽毎日室内で盆や鉢に花が樂しさうに開つて居りますし

ヒヤシンスやアネモネなどが美しさを咲き誇つて居りますが京城では二箇月に一噸近くの石炭を焚いてもストーブから一寸離れるとモウ冷たくて堪りません室内で水分のあるものは皆凍つて終ひます、それはかりでなく衞生上にも大變に惡い如うに思はれます私の處は夫婦と子供四人下女一人の七人家内ですが

▽此の頃は皆な幾分かづゝの頭痛を訴へて居ります外へ出ればすぐ直るしお醫者樣に見て頂いても別に惡い處は無いと申します私の素人考へですが之れは多分手や足又は顏と云ふ風に部分的に火氣に當てますので身體の血管の或る部分は膨脹の爲めに膨大し或る部分は寒さの爲めに收縮する結果から血液の循行が

▽不完全な爲めに起るであらうかと思はれます又女中なども餘程勦はつて遣らないと可愛さうです私の處では女中部室に炬燵を拵へて置いて何時でも當れるやうにして置きます寒い時には暖まらなければ働けません炭や石炭を惜しんで居るのは却つて損です又京城の水道はよく凍結して終ひます水道局へ電話をかけてお願ひして見ても矢張りお多忙と見えて却々見て下さいません

▽而し飲用水が外に無し 凍結させれば水でも水桶までも壞れて終ひますから私の處は公德に反かない程度でほんの少しづゝ放水して居ります表面ばかり嚴重に放水は爲ないなどと申して其の實無駄にドシ／＼放水なさる方もありますが此等の人は大いに咎めてやらねば成りませんが水管の凍結しない程度に少滴宛の水と空氣とを出して置く事は

▽公德上から見ても有益の事であります 火事早い時節ですから一朝間違ひの起つた場合などにも水道管が凍つて居つては小さな火事で濟む場合にもその爲め一家を烏有に歸せしめまたはどんな大災害を多くの人達にかけるか分りません猶私の家庭では寒氣の烈しい時には酒は一切用ひません酒を用ひますと

▽必ず翌朝主人は寒がります し女中は遲くまで起されて居て可愛想だし朝も後片付が容易ではありません、副食物は魚類より獸肉を多く取ります魚肉と獸肉とは十日も續けて喰べ比ぶると直ぐ體溫の差があります魚肉ばかり用ひると體が冷たく成ります（つゞく）

◉潜航艇に 成都丸

松島洋行汽船成都丸（二千五百十噸）は四日ジブラルタルを距る二百五十哩沖にて敵潜航艇の爲め擊沈せられたり乘組員全部は諾威汽船に救助されたり（大阪特電）

◉景園學 大講演會

十五日京城府主催

京城府の依囑を享けて南山公園の改良計畫中なる東京帝大講師林學士田村剛氏は今明日中に京城發明城及び平壤等の視察に向ひ十四日再び入京し十五日午後六時より一般の請により『世界特に朝鮮並に日本に於ける景園の發達を論じて其構成上の原則に及ぶ』と題し約五時間に亙る長廣舌を振ふとのことにて會場は未定なるも成る可く多數一般の來聽を歡迎する由

作業中 土砂の下に壓死す

◉鎭南浦の囚徒

平壤監獄鎭南浦分監にては一月四日囚徒作業の爲め看守松田喜太郎氏外四名にて四十名の囚人を引率し同地漢頭里（驛より三四丁隔りたる丘陵）なる埋立工事請負人鳥越久則氏の工事作業に從事中午後二時頃俄然崖崩れの土砂崩落し折柄從事中の囚徒なる元憲兵補助員にして瀆職罪に依り懲役一年の服役中なる平北定州郡玉泉面洞下洞生れの金錬璞（二四）は卽死し其他六名の重輕傷者を出したる椿事に鎭南浦署より警官出張檢視し負傷者に應急手當を加へたるが何れも生命に別條なし同工事は其の掘取に就て崖脚のみ深く掘鑿したる爲め其の出つ張りが俄然墜落したるものなりと

◉風波に惱む數百の密漁船

警備船鯱丸出動

九龍浦沖合に不正漁業者多數出漁し居り其の數數百隻なりとの情報を得たる釜山署にては警備船鯱丸の出動を開始する事となり三日水上署の岸田巡査鯱丸野坂船長以下六名乘船して午前六時出航午後二時九龍浦に著し茲にて植竹憲兵分遣所長便乘沖合に出動したるに果して數百隻の漁船を發見したるが風波の爲め岸に打ち上げられたるもの二百餘隻に及び尚ほ沖合に多數の漁船を發見したるが鯱丸を見るや何れも淺瀬に逃げ込み且つ風波のため思ふ樣に行動をなす能はず遂に山神組母船第八大成丸船長以下六人下の關入江町漁尾常造所有母船第三田鶴丸船長以下六人漁船一隻を捕へて九龍浦の分遣所に引渡し八日午前九時歸港したるが海上の寒さは猛烈を極め肌を劈く烈風に浪は碎けて吹雪とばかり甲板の飛沫は忽ち氷結して恰も氷上を歩むが如く船員始め何れも凍傷を負ひたりと

▲八日の晩朝鮮ホテルの美濃部總裁の招宴の折柄▲宴酣にして森安博士例の俳病を起して席上頻に紙筆を弄して御座るの態▲之れを見て取つた古海監務總長が素空總監に目語すると總監早速何やら認めて給仕をして博士の前に運ばせる▲博士開いて見ると句に曰く『總裁の宴傾る寒し零下二十度』▲これには流石の崖城宗匠も機先を制されて日頃主張の無技巧、新傾向の論の手前はありながら暫く呆然

◉雪 地方の寒氣

凍り寒威猛烈を極めたり ▲大邱にては舊臘二十六日に氷點下十五度八分なりといふ ▲…田 …中に於ける最低温度は昨年末の氷點下十七度四分を以て最とせる由 …りしが斯かる大雪は群山に於て十數年來稀れなりと噂されつゝあり …したり

◉連絡船上陸客 八日午前十…

天氣 晴れ一時曇（十一日午後六時）

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候 京城日報社 寫眞製版部

演藝案内

京城壽町 電話五七八番 **壽座** 一月十日替り藝題 △前 三國港三人新兵衞 △中 三勝半七酒屋の段 △切 大江山源の賴光御殿 右藝題八十助大切七化早變りに大道具大仕掛けて御高覽に供し候

御成町 電話二九一 **御成座** ◉十日替藝題 緣乃糸 全八幕 田中力造（天野）力造母お種（里見）部醫磯郎（白根）藝妓花吉（平松）支那人小分龍吉（今村）仲居おさき、親族（花井）小分、男蝶（河瀨）花井清行、小分留公、川上親族、女蝶（田中）藤名波枝、津田藝名來吉（藤原）陶健次（淺山）小分三太、藝者菊岡支那人、小分三高、藝子、小役、村井、陳大佐（日野）

本町五丁目 **稻荷座** 一月十日毎日替り物つゞき △義士傳（竹川一夫）△日蓮餘聞（竹川九沙男）△船平治（廣瀨廣駒）△梅山大佐（京山若光丸）△柳生旅日記（藤川久米春）△忠臣錄 大石妻子別れ 曾國完忠次（竹川馬生）

愈々跡二日間 曾我忠臣藏以來の大寫眞 舊劇 **吉田御殿** 七卷 坂崎出羽守の憤死 千姬の亂行狂亂 物凄き怨靈の祟り 防寒完備 館内如春 **大正館**

明治町 電話二六〇 **浪花館** ▲東京落語柳連雷門助六一行 △一月一日より毎夜五時開演仕候 △落語（雷門助丸）△落語 演題日△落語（雷門市六）△落語 △若手落語（雷門はたん）△落語手踊（雷門助三）… △落語手踊竹琴（雷門助三）△大下一品曲藝飛行の大皿（雷門助三郎）△まなし（音久亭）△江戸土產深川踊、かつぽれ、名物踊 △佐八ノ△奇術滑稽ポンチ（雷門助六）△社中△落語振事道成寺 △大切落語劇（樂屋總出）

櫻井町 電話八七三 **大正館** 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 正月六日より第二次特別大寫眞提供 ○實寫伊太利ポレンポの谷 ○滑稽ビル君パンの製造 ○喜劇リー嬢の就職 ▲丁抹ノルディツク會社秀作 泰西人情劇選擧戰 全三卷 …

早川直營 電話二六三七 **黃金館** ▲一月五日より新春第二次特別大興行 …

質 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所 電話六三九番

髮 なよやかに 丈長がく 美しく艶やかに 黑くするは 廣い世界に パール煉香油 かぎるばかり パール愛用者がおつしやる實話であります 本舗 東京 平尾贊平商店 關西代理店 大阪 平尾贊平支店

……たるが之れ釜山の初雪にて其れより温度は一層下降し八日朝に至りては實に攝氏氷點下十一度を示して物皆……

後七日夜に北……八日朝は降雪歇みたるも寒度益々極めたるが昨八日午前六時大邱測候所の觀測せる所によれば最低氷點下……が將士何れも雪を蹴つて進む一隊の壯烈に軍隊の意氣彌増されるを覺ね

温度は氷點下二十度五分にして實に最近數年來になき寒氣なり因に數年……て又々七寸以上の積雪を見たるが昨……時頃より降雪あり當夜は降り切りて積る事一寸近く屋外一面銀世界と化……

●都市繁榮のバロメートル（下）

世界代表的郵便局＝矢野通信課長の談

◆華盛頓郵便局　ワシントン市は其人口三十四萬を算するに過ぎざるも大統領所在地の郵便局丈けありて其局舍は頗る宏壯なるものなり又ワシントンは各種

▽行政官廳並に議會議事堂の所在地なるを以て同郵便局の郵便物の爲め特別の窓口を設けあり又た政府印刷所とワシントン局との間には電氣輸送器に依りて郵便物の發受をなしつゝありワシントン局舍は

▽一昨年の頃ユニオン停車場の隣地に新築せられたるものにして郵便遞送上甚だ利便なりとす但し商業地區より見れば稍々偏在せりと雖も商業地區には郵便支局の設置あるを以て公衆に於ては格別の不便之れなしとす

◆香港郵便局　香港は其面積僅々三十平方哩の小島なりと雖も香港郵便局は寫眞の如く立派なるものなり同寫眞を送付し來りたる某氏の通信に曰く香港の局は京城郵便局よりもチト大きく御座候とあり局舍の美に於ては或は然るべし

◆行動郵便局　郵便遞送の速達を計らんが爲め又は汽車、汽船の乘客の利便の爲め各國に於て行動郵便局を設置せるもの多し行動郵便局は汽車又は

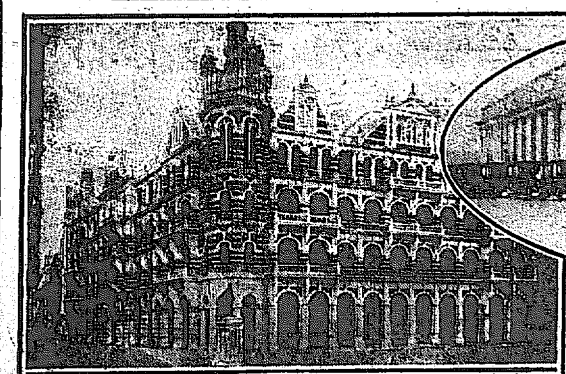
▽汽船内に設置せられたる郵便局にして汽車中に設置せられたるものは一に之れを鐵道郵便局と稱す鐵道郵便局は旅客車又は貨車に接續せる一車又數車內に設置せらるゝものありと雖も其大なるものにありては列車

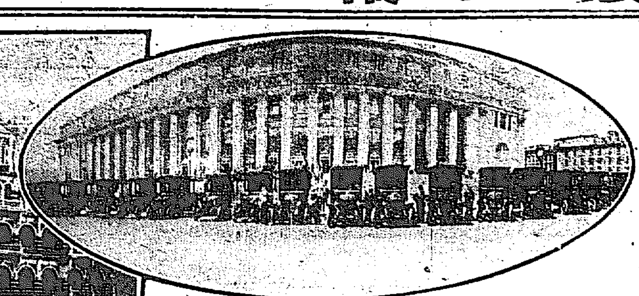
▽全部が郵便局にして機關車を除くの外は全部郵便局員のみ乘務し以て郵便の遞送區分並に受渡事務に從事する局員數の多きものは局長以下三十餘名を乘務せしむる鐵道郵便局あり此鐵道郵便局の設置の爲め郵便物を速達せしむること多大なるものありと雖も其經費も亦少なからざるものとす

▽我國に於ける鐵道郵便は旅客車の一車又は數車を使用するものにして未だ全列車を使用する迄の程度に達せず船舶內に設けられたる行動郵便局は一に之れを船舶郵便局と稱す我關釜間の連絡船內にも船舶郵便局を設置し郵便遞送事務及び

▽乘客の爲め各種の窓口事務をも取扱へり其他横濱桑港間或は横濱シャトル間の船舶內にも行動郵便局あり遞送上並に旅客の郵便物發受及び爲替事務等の爲めにも利便少なからず英國と米國との間にも

▽兩國間を航海する船舶內に船舶郵便局の設置ありて郵便遞送上及び窓口事務の爲め其の利便多大なりとす右の外各國間を往來せる大船內にて郵便局の設置あるもの多く其利便多大なりと云ふべし





（上左）香港郵便局（上右）紐育郵便局（下）華西頓郵便局

●平壤の觀兵式

平壤步兵第七十七聯隊に於ては八日午前十時より練兵場に於て陸軍觀兵式を舉行したるが統裁官市川旅團長は正裝にて旅團副官を隨へ馬上豐かに式場に臨み指揮官野島聯隊長指揮の下に閱兵式を終り分列式に移り午後一時閉式したるが此日寒氣凜烈肌を刺す許りにて氷點以下二十三度と云ふ酷寒にも關らず數千の貔貅は勇氣凜々として威風四邊を振へり

●東海道電線故障

十日東海道地方降雪の爲め電信線の一部に故障を生じ一時不通となりたるが午後三時に至り回復せりされど之が爲同方面の電報は一般に多少延著を免れざるべし

●平壤は二十三度

昨年末二十五六日頃より非常の强寒を感じ附來大陸方面の高氣壓固定しありしにより次後每日寒氣凜烈近年稀れなる寒氣と云ふべし殊に八日朝は氷點以下二十三度一と云ふ氣温を示し昨年十二月二十六日の二十二度五分よりも低く此氣温は昨年の同期に比し平均十四度餘の寒氣にして例年に比するも八度の低温なり此寒氣は尙高氣壓が支那大陸一體を占むるを以て此數日は持續すべく二月中旬に入りて一層の寒氣を見るべしとなり

●岩城夫人の訃

前商業會議所議員岩城卓氏夫人は昨年十月來總督府醫院に入院加療中の處藥效なく九日午前五時三十八歲にて長逝せり葬儀は十日午後三時新町高野山にて執行の筈

●在鄉軍人會平壤分會演武場

平壤黃金町演武場にては一月六日より向ふ三十日間寒稽古を開始し定日中悉く出席せる者には記念品を贈る由本年は冬期の教師を增し從來の柔道教師杉浦、尾崎の兩氏の外に步兵第七十七聯隊の川戶中尉警務部の永野教師監獄署の三上看守長の三氏を劍道部には高橋、千葉、岡田、兩氏の外に同聯隊の大木大尉、高橋大尉、三浦少尉警務部奧山の四氏を銃劍術判官とし同聯隊の工藤中尉等何れも講道館及び武德會の有段者にして斯道に熱心なる氏を囑託し益々盛大に教授すべしと

●平壤俳壇新年宴會

平壤俳壇新年宴會員數十名は八日午後六時より泉町游廓に於て新年俳句會を兼ね新年宴會を開催したり

神社とお寺と教會

○本能寺（水標橋通）十二日午後一時より初會說教及び鄉人會の新年會を開催し朝倉師の說教ある由

○京城基督教靑年會（南大門通）十日午後五時より鐵路基督教靑年會に於て體育會を催せり

○開教院（本町三）十一日午後一時より新年會ありて弘安朝鮮開教總長の講話あり

商況

公債直取引（東京）

九日前場	
五分利特別	九四、七〇
五分利	｜
一回四分	八二、三〇
二回四分	八三、三〇
甲五分	九四、六〇

深川在米特電

九日現在高	
朝鮮米	八七、九〇
臺灣米	七〇、三〇
內地米	一、五一三、六六七

東京期米特電

九日前場	二月限
寄付	一八、一一
高値	一八、一七
安値	一八、〇九
止め	一八、一四

大阪株式

銘柄	拂込	八日後場	九日前場
宇治川水	[illegible]	｜	｜
神戶電鐵	[illegible]	｜	｜
京阪電鐵	[illegible]	｜	｜
和歌山電	[illegible]	｜	｜
合同紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

大阪期米特電

九日後場		
一月限	一八一、〇〇	一八〇、九〇
二月限	一八〇、九〇	一八〇、九〇
三月限	一八〇、四〇	一八〇、三〇
四月限	一七九、八〇	一八〇、〇〇
五月限	一七九、一〇	一七九、四〇
六月限	一七八、五〇	一七八、九〇

下關期米特電

十日前場	
當限寄付	一六、二〇
中限寄付	一六、五〇
先限寄付	一七、三〇
	め止

雜報

九日前場	當限	中限	先限
寄付	一六、八〇	一六、八〇	一七、三〇
高値	｜	一六、七〇	一七、二〇
安値	｜	一六、七〇	一七、三〇
止め	｜	一六、八〇	一七、三〇

●大勢は弱氣勝

さて郵々の小商ひある外大口の商持無く……直しを唱ふれど……

●世界的騰貴　强氣筋

弱氣筋の材料としては戰爭の永續に……世界的騰貴……大注文あるに反し弱氣は……

●新規輸出の見込立

……

●洋鐵益々强調

……

●精白米好氣配

……

●十四圓九十錢賣行されつゝ移出口は

……

三巳仲買店　京城南米倉町（京城取引所前）電話三一二

●木炭廻著薄　十六圓二十錢

……

●品不足の聲高く白炭十三圓五十錢　年末根炭

……

下關相場

●市價の引締

……

●皮革界活況

●十弗の新値を報じ象皮又百二十五仙の高値

……

●躍進せんとする……五七十錢方

……

●皮革の製品七八圓方の値上げ　和象に……朝鮮

……

●豚皮の需要激增

……

●安値當時の持出

……

●麥粉形勢混屯

……

京城正米

△鎭南大豆　十一圓三十錢
△平壤大豆　十一圓三十五錢
△同　十一圓三十錢

●座地とされば人氣の先走

先高見越しを以つて農家賣惜ぶりの折柄近頃の烈寒と降雪は線路上の便なき出廻り一層減退の模樣を呈せり……

京城雜穀

●年末の高値より六七十錢方の昂騰を見るに至れり

田中金物店

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場　九日

生魚市場

仁川期米

●十日前場　大阪天候晴天前

森仲買店　仁川米豆取引所仲買人

●寄十七圓三十錢と昨止より一錢安の入電

●二錢安に寄付依然保合の裡に

仁川米豆取引所　十日の三月限

前場	
寄付	十三圓十錢
止め	十三圓十五錢
高値	十三圓十錢
安値	十三圓十二錢
出來高	二萬二千六百石

平均値段	
一節	十三圓十三錢
二節	十三圓十二錢
三節	十三圓十二錢
四節	十三圓十二錢
五節	十三圓十一錢

市場零聞

●依然保合

●前場の手振

●押目高値より二十三錢方　大阪は豫期の如く

●㊦能く賣る

●㊥能く賣る

●㊀能く買ふ

●三能く買ふ

●結局動かず

●氣候は順調

●少嫌氣の買退き多し

●高値は買進む手口

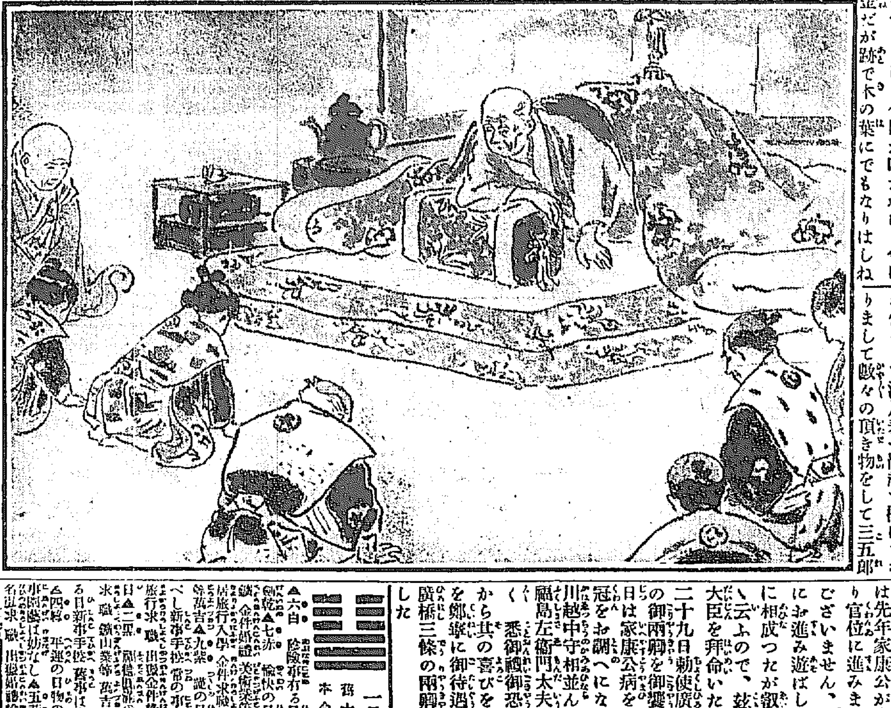
●無く自然保合

……

明君道中記

第二十五席　田邊南龍口演

酒井侯の仰せを受けて重役が立出まして　重『コレ〳〵三五郎と申すは其方か』　三『ヘエ』　役『大きに御苦勞であつた、能く長老樣の御供をいたして參つた、此を取らせる』と銀五兩三五郎に下された、三五郎聢いて　三『こんなにはア駄賃は要らねえ、何うかまア相當のことをして下せえ』　役『イヤ心配には及ばんから頂いて置け』　三『何うもはア合點が叶かねえ、今は金だが跡で木の葉にでもなりはしねえか、五兩なぞといふ金を持つたことが無え』　役『決して心配をいたさず頂戴いたして參れ、當方は酒井雅樂頭で居らせられる』　三『ヘエ』　役『大きに大儀であつた、御酒を下さるから頂いて參るが宜い』　三『イヤそれだけはまア御免を蒙ります』　役『酒は嫌いか』　三『何アに鳥渡飲んでも一升や一升五合は煽るでがす、落著いて飲めば二升や三升はひつくりかへすがね』　役『却々大酒家、然らば頂戴いたせ』　三『何アに馬の小便でも飲せられた節には堪らねえ、貰つた金が木の葉になるはまア仕方が無ねが、馬の小便なぞを飲された節には事だ』　役『馬鹿なことを申せ、何を其方は疑ぐつて居る、決して遠慮には及ばんから、さア〳〵頂戴いたせ』結構な御酒御肴を下されました、最初は考へて居つたが根が意地の汚い男、少し位遣つたッて間違はなからうと頂いて見ると、何うも結構な御酒でさア當人もう一口〳〵とうとう〳〵ペロ〳〵に醉てしまつて、果は其處へ仆れて寢てしまひました、翌朝になつて眼が覺めると、當人膽を潰した、乃で掛けて下すつた夜具はそつくり三五郎に下さる、此の後ともに天海樣のお供をして江戶表へ罷越す樣にとなりまして嚴々の頂き物をして三五郎は白子へ立歸りました、此の人の子孫は後に名主となりまして白子馬方名主三五郎と云つて名高いお話しであります、偖此方は天海長老早速秀忠公に拜顏をいたして夢の趣を申し上げました、秀忠公も落合道次が先に參つて御病氣の由を言上いたしてありますから、然て見ると此度は父上樣の御病氣御大切であるによつて卽刻伺はなければならんと直に御支度を遊ばして、最も竹千代君國松君のお二方を同道いたして天海長老大久保彥左衞門が御供をして江戶表を御出立になりまして、二月の朔日駿府へ御著になり翌二日家康公御前へ出で御病氣御見舞を申し上げた時に家康公非常に御喜び　家『家康老病に惱まされ餘命旦夕に迫り今世に於て御身に對面は叶ひ申さぬと心得居りし處能うこそ罷越された、此の上もなき大慶の至り病苦を大いに忘れた』と仰せられて是からお起き遊ばして種々お話しをなされましたが、秀忠公は駿府にお泊りになつて日々御機嫌を伺ひ御容態を見ましては御介抱を申し上げて居ります、然る處三月十七日京都よりいたして廣橋大納言兼勝卿三條大納言實條卿勅使として駿府に御下向に相成りました、是は先年家康公が右大臣を御辭退になり官位に進みまする事が御望みがございません、處が此度は太政大臣にお進み遊ばした只今までは御辭退に相成つたが叡慮より出ましたことゝ云ふので、茲で家康公謹んで太政大臣を拜命いたしました、乃で三月二十九日勅使廣橋大納言三條大納言の御兩卿を御饗應といふことで、當日は家康公病を押して太政大臣の衣冠をお調へになり在駿府の大小名細川越中守相並んで加賀中納言利常、福島左衞門太夫正則其の餘の大名衆悉く御禮御恐悅を申し上げまするから其の喜びを御受け遊ばし勅使方を鄭重に御待遇に相成ります、三日廣橋三條の兩卿は御歸洛に相成りました



一月十二日　九星　舊十二月十九日甲寅　本命六白乾除赤口

▲六白　陰險事有る日注意新事見合南方は吉……
▲七赤　愉快の日轉居開業入學……
▲八白　……
▲九紫　……
▲一白　……
▲二黑　……
▲三碧　……
▲四綠　……
▲五黃　……

外科一般　花柳病科　皮膚科　泌尿器科　院長　安部修三　京城永樂町三丁目金光教會隣　安部醫院　電話四一九番

妻菊葬儀之際は態々御會葬被成下御厚情奉深謝候　一月十一日　上田駿一郎

母日増尼病氣の處養生相不叶九日午後八時遂に死去致候此段謹告仕候追而葬儀は來る十一日午後二時護國寺に於て執行候條生花放鳥等御寄贈は御辭退申上候　大正六年一月九日　京城旭町三丁目護國寺内　嗣子　武智文碩　加藤多喜子　日宗　入姉　會中

天氣……

前日　御供所攝氏零下十一度五分……華氏零下……

米國哲學博士 鈴木美山先生の二大著述

天覽台覽 **健全之原理**

菊版四百頁◎洋裝天金付◎定價金貳圓◎郵稅十二錢

健全生活を致すの原理—切實の言筌—實生活問題の解決—幸福に赴くの秘鍵—社會の一大經綸—等

好評嘖々忽四版發行

「各新聞紙は最高級の形容詞に苦しめり」

簡易 **哲理自療法**

四六版◎洋裝天金付◎定價金壹圓貳拾錢◎郵稅八錢

注文殺倒して新刊早々賣行飛ぶが如し

自分の病氣は自分で癒せ

「病氣は癒り運が良くなる」

これ本書の主張である、敎示である、行文平易にして何人にても理解し得る樣說かれたる日常寶典は、今や本書を措いて他に類例を見ず。論より證據、本書の附錄として多數の實驗報告から擇錄した山岡海軍大佐山根醫學士外約五十名の僞りなき告白を見よ。

本療法研究志望者及不治の病者は是非一度御來臨あれ

疾病の撲滅!貧乏の驅逐!煩悶の解決! 老若男女誰にも出來る最新思想の研究

新學期の開講

哲理治療法通信教授

入會の好時期

哲學治療法は藥物を使用せず一切の難症を治療し得る最新療法である故に藥物療法の如き危險もなければ再發の憂もない肉體的疾患でも精神的病癖でも◎眼病◎腦病◎胃腸病◎肺病◎僂麻質斯◎中風症◎脚氣◎脊髓病◎梅毒◎痔疾◎白[illegible]◎癲癇◎癌腫物◎婦人病一切◎精神病其他神經系統の諸病等病と云ふ病で癒らぬものは一つも無いのみならず自分は勿論積極的にこれを他人に施して憐れむべき世の病弱者を救ふ事も出來る若し健康な人が之を修得せる時は品性を陶冶し人格を向上して益活力を旺盛にする等利益は無限である殊に有益な新職業を要望する人に對しては天寶の福音である

米國哲學博士 鈴木美山先生講述

規則書は無代進呈

東京市牛込區東五軒町三十番地

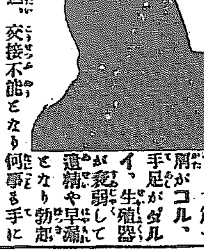
健全哲學館大學

振替口座東京八一七六番

今直に申込まれよ

精力家と成り世に成功者と云はれよ

―腦神經衰弱症に苦む人◎生殖器衰弱症に惱む人―



近頃此病人が多くなつた、大抵コンナ容態で苦悶して居る、頭痛や眩暈や耳鳴がする、夜は不眠、眠るとも惡ひ夢を見る、食欲減退、便秘、動悸や息切がする首筋や肩がコル、手足がダルイ、生殖器が衰弱して遺精や早漏となり勃起力減退、交接不能となり何事も手につかず、讀書力、記憶力、思考力、判斷力等減退、常に取越し苦勞をする何事を見聞しても快感なく毎日悲觀と苦悶にて自分の身體を持餘すような不幸な方があらばハガキにて▽東京市東兩國小泉町廿八 救世堂へ申込あれ、久保醫學士の特效藥セーフの說明書を送呈す、同病者は一日も早く病苦を免れ自己の職業に就て精勵し以て世の人に成功者と敬せられよ。

自動車學校の設立に就き稟告

東京市京橋區南紺屋町鈴木靖二所設に係る發動機協會は社會の趨勢に鑑み過る一年間自動車運轉手の養成に力を致し既に多くの修了生を出し斯界に優良なる運轉手を送り聊我國自動車界の爲に盡せり然るに時勢は倘[illegible]して自動車の發達隆盛を促し利用の範圍は擴大せられ車輛數の増加を來たすべきは云ふ迄もなく何人も異論なき所也此推移の狀勢を察し發動機協會は數ケ月前[illegible]一層優良なる自動車技術者を養成せん[illegible]を謀り種々研究畫策の末自動車學校設立の[illegible]に決す爾來著々準備の步を進め今回漸く諸般の施設は勿論校舍の修築講師の招聘等全く整ひ新たに其の筋の認可を經ると共に發動機協會の經營を離れ自動車學校の名の下に本月より開校し廣く生徒を募集す

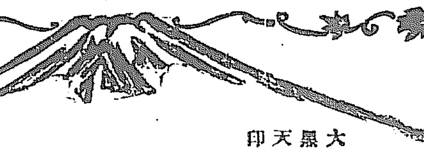
願ふに現在の如く自動車の使用盛んなる時に方り完全なる技術者を養成すべき學校の未だ之れ無かりしは頗る遺憾なりしなり歐米各國に於ては既に到る處其の設立を見ざるなしと聞く蓋し周圍の狀勢の自然然らしめしものならむ本校の設立亦我國自動車の發達に伴ひ社會が要求する結果に外ならず而して本校は實に本邦唯一の榮冠を荷ふもの也

方今我國運轉手の現況を見るに組織的に專門智識を有するものは極めて稀れにして多くは勃興時代には免れ難き變則的のものにして爲に自動車界の蒙むる損害鮮からずとは常に識者の喚ずる所にして此の弊を救ふ機關の出現は何人も熱望して止まざるべし而かも運轉手が受くる收入の如きは比較的多額にして少なきも三四十圓多きは二百圓位に達す如上の不完全なる運轉手にして尙且つ如此多額を得るは畢竟需要の緊切なるに因らずんばあらず本校の設立は斯界に取り又一面志を斯業に投ぜんとする青年諸士に取り空谷の跫音たるべし

本校は登校親しく講師の講義を受くる正科の外地方在住者の便を計り通信敎授の制もあり本校組織の詳細其他は左記に宛て照會せらるべし

東京京橋南紺屋町

私立 **自動車學校**

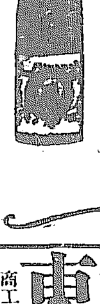


山は富士!! 葡萄酒は!!

甲斐產葡萄酒!!

宮崎葡萄液!!

大黑天印



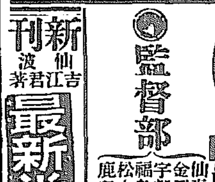
釀造最モ久シク進步常ニ止マザルナリ

其ノ需用ノ斯ク偉大ニシテ其ノ販路ノ斯ク廣汎ナルハ此レ品質良好卓拔ノ結果ナリ

宮內省御用達 釀造元 甲州祝村 宮崎光太郎

發賣元 東京日本橋區蠣殼町 甲斐產商店

電話浪花四八七〇、四八七一番 振替東京一九三七番



ヘチマコロン

糸瓜の水より發明したる

自分ながら惚れする樣に……

面上ばかりの美麗でなく透き通つて眞の眞から美しくなるには

本邦唯一美顏化粧料 **ヘチマコロン**……を

朝な夕なに缺かさずお使ひ遊ばした何よりの證據!!

なぜよろしいか?それは有觸れた製品のベトベトする化粧液と違ひまして少しもベトツカズ白粉のノリ、ノビを良くし、シミソバカスを防ぎ顏から色白くキメ細かに生き〳〵とした肌にする大効があるからです。是非一度お試し下さい……

定價大瓶金五拾錢小瓶金卅錢 到る處の藥種小間物化粧品雜貨店に販賣す

發賣元 東京横山町 天野源七

新學期開講 本年一月一日より

本會ハ各專門大家ノ講明ニ成ル

文官吏 試驗學科通信講義

本會は各種普通文官△裁判所書記△警察官等の試驗や既に文官公吏たる人の執務に必要なる法制科學を通信敎授す[illegible]官公吏志望者及昇進希望者の良敎師也

本會の講師は知名の學士にして全支[illegible]講義平易明快なり各府縣の普通文官試驗及第者の最も多數が本會の卒業生たるは試驗官も確認す

任官就職希望の青年は情實に依頼するよりも本會の通信敎授に依て法制學を作り自ら試驗に應ぜよ

會長 法學博士 寺尾亨
法學博士 戶水寬人
法學博士 江木衷
文學博士 建部遯吾

△見本附會則無代進呈▽

東京市麴町區永田町 普通文官養成學會

村上不二男著

忽三版

新兵さん

『ヤア是は面白い!實に奇拔だ!四角四面な軍隊でも遣廢滑稽と諧謔が有るのかネ』さうだとも眞面目な軍隊に思はずブッと噴き出す樣な破天荒の滑稽があるよ。噓だと思つたら讀んで見給へ——

袖珍三百餘頁 定價金三十五錢 郵稅金四錢

東京日本橋蠣殼町 振替壹五〇五六番 磯部甲陽堂

與野他見男著 **大學出の兵隊さん** 正價金參拾五錢 郵稅四錢 十九版

東京商工學校

本科―商業、土木、電氣、工業、化學、建築

豫科―工業部、商業部

高等科―商業、電氣

簡易商業

商工業界ノ活躍ニ伴ヒ卒業生ノ需要益多キヲ以テ本學期ノ募集人員ヲ豫科七百、本科二百名トス

第廿四回新學期四月一日―小學卒業生豫科ヘ、中學卒業本科ヘ無試驗

規則書入用者ハ郵券貳錢ヲ要ス

神田區中猿樂町 電話本局二七〇六

◎本店 東京府麴町區有樂町

◎支部 大阪市東區南久太郎町二丁目 福岡市博多馬場新町 臺灣事務所臺北大稻埕新街

生命保險界の一新機軸

東海生命保險相互會社

最も進步せる相互組織

◎監督部 仙臺市東八番町 金澤市十三間町 宇都宮市一條町 福島市置賜町 松本市片端町 鹿兒島市小川町 廣島市下流川町 名古屋市小林町 札幌區南六條 京城明治町二 大連市西公園町

專務取締役社長 松方五郎
取締役 諸戶清六
取締役 阿部市三郎
取締役 伯爵 川村鐵太郎
監査役 宇都宮金之丞
監査役 小川源次郎
監査役 春田祐三
監査役 大島要三

新刊 吉江仙波君著

最新米穀貯藏法

根本的產米增加 市價暴落豫防法

定價金四十錢 送料四錢

東京京橋大通 振替六九六番 有隣堂

會長 前文部次官 文學博士 澤柳政太郎

男子部長 前東京府豐島師範學校長 大束重善

女子部長 共立女子職業學校副校長 鳩山春子

◎敎員檢定受驗志望者及び師範入學希望者の良師

敎員養成講義錄

本科講義科目

修身、敎育(心理、論理、敎育學、管理法、敎育史、敎授法)國語(講讀、文典、習字、文學史)漢文、歷史(日本、東洋、西洋)地理(日本、外國、地文)數學(算術、代數、幾何、三角)博物(植物、動物、生理、衛生、鑛物)理化(物理、化學)法制經濟、圖畫(毛筆、鉛筆、用器畫)音樂(樂典)體操(普通、兵式)家事裁縫

以上の本科は師範の程度にして、尋正、本正、受驗の實力を養はしむ。

簡易部科目

修身(敎育勅語、戊申詔書、國民道德)敎育(學說大要、敎授法要旨)國語(講讀、文典、作文、習字)歷史(日本、外國)地理(日本、外國)數學(算術)博物(植物、動物、生理衛生及鑛物)理化(物理)圖畫(鉛筆、毛筆、水彩)音樂(樂典)體育裁縫

簡易部は師範入學及び尋准受驗者のため半年卒業にて實力を養はしむ

新年より新元氣を以て勉強せんとする男女は來れ◎東京市牛込區久津戶町二四 日本師範學會 振替東京一七〇〇二◎本會則見本きつ無代進呈

平田ドクトル六年間苦心の結晶產物

=世界に於て最も強力なる胃腸新藥の提供=價格低廉=効力一定不變

胃腸新藥 アニモスターゼ

◎アニモスターゼは他の優秀なるヂアスターゼの強力に比して八倍の消化力を有し他のヂアスターゼが一時間に消化する食量をアニモスターゼは一分間に消化し盡くす之を實驗に徵するに多數の胃腸病者にヂアスターゼを完全に作用せしめんには少なくも一日二瓦より四瓦を用ひざる可らず而も如此多量を服用する時は却て下痢症乃至消化不良等を起こすものなり然るにアニモスターゼは全然此の弊なく其使用量はヂアスターゼの八分一にて足り本錠一錠の効力はヂアスターゼ八錠以上服用したると匹敵す

◎昨年四月二日於東京帝國大學開催消化器病學會總會に於ける平田ドクトルの講演錄は御申越次第贈呈

◎當品效用 健康者は日常本劑により消化作用を完全にし體重を增加し元氣を旺盛にすべく胃腸病者は速かに恢復の實を示せり(一)食慾減退せる胃腸病者の病症。(二)一般の胃腸病後に於ける回復期。(三)營養不良の胃腸病。(四)胃擴張及び胃下垂の病患。(五)胃腸の醱酵を抑制するの特効あるを以て胃加答兒、腸加答兒、「胃アトニー」等の如き著しき胃腸疾患及び心臟病等。

◎本劑は粉末十瓦、卅五瓦。百錠入。各地有名藥店にあり

發賣元 東京神田三崎町二ノ一 三洋堂合資會社

特約店 東京日本橋區本町 小西新兵衛

特約店 大阪東區道修町 武田長兵衛

農商工業經營實務 月刊雜誌

金もうけの研究

新實業

良職業の報導

創刊第一號發行

本誌は毎號▲小資本にて成功し得る良職業▲有利なる副業▲內職的發明▲地方に於ける有望事業と就職▲商家の經營法▲開業案內▲商工家庭の小資本研究等あらゆる方面に亙り實務本位の有益趣味ある記事を滿載す

記事は凡て空論を避け實行の出來る事柄のみなれば一讀して自ら金儲の新法を悟り得らるべし

會員大募集 本誌一年分前金讀者を會員とし本誌の廣告を半額に揭載し種々の質問に答へ其他各種の特別なる便宜と特典を與ふ

▲定價一年分送料共八十五錢一部八錢にて送る

發行所 東京市下谷區中根岸町八一(振替東京三四九六五番) 新實業社

■■お正月の好讀物■■

ダンテ原作 石山姑射兩文學士譯

純洋型四六判約八百五十頁 布裝天金假名附上等紙函入 凸版約一百二十面挿入

絵入口譯 神曲

約七百年の間世界の各國語に飜譯され各國民に愛讀されて來た本書の內容は如何、本書は原書の忠實な飜譯にして地獄極樂の面白い物語である、人間の死後は如何、靈魂は實際あるものか、吾人が苦しみますに死なんとせば本書を讀むに限る

價貳圓五拾錢 送料十八錢

第貳輯

波斯神話

文學士 土屋文明譯述

純洋型四六判約五百五十頁 布裝天金假名附上等函入

古代ペルシヤの面白い物語建國のために神樣達や英雄共が如何に苦んだか何處を讀んでも面白い實際こんな面白い本はない

價貳圓 送料二十錢

發行所 東京市外田端四二〇 振替東京三一四一二 向陵社

取次店 全國書店

京城日報
第三版
一月十一日
(夕刊と合せて八頁)
京城太平通一丁目 發行所 合名會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

期米特電
(十日發)
寄付 當限 一五、八〇 中限 一六、[illegible] 先限 一六、九二
[illegible]

▲前く買ふ [illegible]

▲㊥の商內 [illegible]

▲現物界 [illegible]

「大正の青年と帝國の前途」を讀む (十二)

十二月十二日 上海にて 大谷光瑞

今の世青年耽讀の書、多くは是れ鴉片毒なり、白綠の色に染むが如く、浸潤毒姦全身に及ぶあり、恐れざるべけんや。是に加ふるに商賈の富人[illegible]用なき[illegible]然れども[illegible]た[illegible]力行以て富を致せる[illegible]に[illegible]して多くは好運に僥倖せ[illegible]のなす。好運の僥倖必ずしも不善なりとせず、然れども堅實の美風を害するに至つては、之を免る能はず。而して其多くは、自制の力弱く、道義の念乏しく、黃金の威を以て他人に誇らんとす。而して之に接する者、多くは其財を漁せんが爲、叩頭跪坐以て彼が所欲を長ぜんとす。彼其欺かるゝを知らざるに非ずと雖も、久しく財の奴となり、屈辱を忍べり。今財を得、正に快意せんとす、自制の[illegible]を以て千鈞を繋ぐが如し。曲[illegible]彼を稱[illegible]身の安逸にあり、高貴にあり、今市井の買估既に學なく、德なく、唯財を利して衆人之を崇び、所謂議者又其前に叩頭す。然れば安逸は、財に依て得べく、高貴又財に依て購ふべく、青年の理想とする所の富貴は、一の財を得るに依て之を得べし。是れ一簞双膊を落すの類なり、財を索めずして、將た何物か之を索めん。擧世滔々唯財是れ得んと欲す、何ぞ知らん百年の富貴なし、古より富豪の家五世連續するは甚だ稀なり、其多くは子孫を須たずして、一身の浮沈興廢掌を反すが如し。曩日東陵の侯は、卽ち今日西門瓜を種るの人なり。富貴の恃むべからざるは、海市の幻影の如し。李太白曰く『功名富貴若長在、漢水亦應西北流』と、實に然り。然れども是の幻影を追て、擧世煎熬せざるなし、射利の徒求むる所唯利にあり、名の如き、義の如き、素より問ふ所に非ず。是を逐ふや、眼中國家なく、君父なく、夫婦なく、兄弟なく、朋友なく、戚眷なく、利背けば所親仇讐の如く、利合せば、吳越同舟す、獵者の鹿を逐ふが如し、絕澗窮谷長嶺深林顧る所に非ず、其秩序を取り、風俗を害するや、災の及ぶ所、不測の遠きに到れり。而して一たび是を得るや、又放縱、奢侈、其多くは、酒色に浪費し、質樸の美風を敗り、勤勉の良俗を害[illegible]を得んが爲、世を毒し、[illegible]、更に世を害す、其最も[illegible]甚だしき[illegible]を僥倖、暴富の徒とす。而して今日青年の望む所、多くは是の徒に屬す。今世其害古に數倍せり、特に都市に甚だし、而して農村の子弟は、擧て都市に赴く事を望み、來つて之に接せば、立ろに惡習に感染す。

日露貿易(上)

翠雲居士

○お正月に際して日露貿易の骨子を告げる。それは從花園朝の何年かに一休さんがやられた御用心の一句に鑑きて居る樣です常に各自の主人公を護持して油斷がなければ日露貿易位は朝食前の仕事でありませう。

◎今日は大槪の人が縱令齧時たりとも眞面目な氣になりて若水でも酌むか南山の太神宮樣へでも御參詣をしやうといふ目出度い日であるから此に伊勢太廟の御倉に奉納されてある神宮極秘寶基本紀の一節垂仁天皇卽位二十六年新嘗會祭の夜に於ける詔を謹掲し奉りて、神の御教を體し樣と思ひます。

昔れ今夜大神の威命を承りて託宣す、神主部物忌等愼みて懈ること勿れ、正に明かに聞け人は則ち天が下の神物なり、須らく靜謐を掌るべし、心は則ち神明の主なり、心神を傷むること莫れ……總て神代には人の心聖にして常なり、直にして正なり、地神の末天下四方の人、夫心其心神ひ黑し、有無の異名を分ち、心走り使ほれて安き時有ること無し、心臟傷みて神散け去る、人は天地の靈氣を受けて、靈氣の化なる所を貴ばず、神明の光胤を穢いで神明の禁令を信ぜず、故に生死長夜の闇に沈み、根の國底つ國に吟へり

○人は天が下の神物にて神明の主は心なりとは神代ながらの眞理である豐葦原瑞穗國には八百萬の神が鎭座ましましたが、今は六千五百萬の神がすつたもんだとやつて御座る、一面より觀れば國運の隆興洵に以て慶賀の至りである、西洋でも醜陋なる羅馬法王の忌諱に觸れて火刑に處せられたブルノーは夙に萬有神敎を唱へ、物はいかほど微小なるも神の性を宿さぬほど微小なるもの莫しと絕叫して居るが、我が國が一神論に拘

昔の宿

溫亭生

年頭に立つて前途を望むと何となく善い事が待ち設けて居るやうにも思はるゝが、振返つて過去を眺めると又た種々の波瀾の跡が歷々と見らるゝ。此波瀾は一年前の者もあれば二年三年又はずつと以前の者まで山陵の如く起伏して覗はるゝ、そして遂には其の末が霞の中にボカされたやうに何處となく薄れて行く、私は今其を眺めて居るのである。

――一昨々年の十月であつたと思ふ。大阪に用を足して宇治を廻つて京都に下車したのは。十幾年ぶりに京都停車場に下りて見ると蘇張樣子が違ふ。

もう二十七八年前であつた。西六條の學校に居て、此邊には三日に擧げず遊び步いたもので能く地理も知つて居た。明治三十六年に又一度下車した時には左して相違は見ないで何の關梧つきもし無かつたのに。今度は悉皆り樣子が變つて一寸途方に暮れたのである。

左見右見する内に本願寺の大きな御堂が眼についた。此を彌陀の數へと賴んで。此から漸やく方角を割出して、昔の七條通りであることを知り西へ／＼と辿つて堀川から西本願寺の庭前に入つた。其處には昔の本願寺があつた。

茶飲所も昔のまゝ、水吹の銀杏も昔のまゝであつた、廣い廻廊を踏んで御影堂、阿彌陀堂と拜がみ廻ると闇い內陣と幽けき御灯とは沁々と有難さを覺へさする、此も昔のまゝの感じであつた。

京都に下車りたのは別に用事があつてゞは無かつた、只だ何となく西六條が戀しかつた許りであつた。だから東山だの上京だのと遊び廻る勇氣も出なかつた。尤も本願寺には訪ぬれば訪ぬる丈の知人が無いでも無かつたけれども、今廣い御堂に入つて昔ながらの私に返つたので鹿爪らしい挨拶などもしたく無くなつた。でたともう薄闇い御影堂の中に坐つたまゝ老果た男や女の念佛しては去り／＼するのを見迎へ見送つてゐた斯うした空氣に打たれてゐると不圖昔の宿の事が想ひ浮べられた。其宿は本門を出ると直ぐであるから寄つて見る事にした。

本門を出ると其處が御前通りで右角に珠數屋が有つたが其れが見へ無い、其隣りが則ち昔馴染の宿である筈であるのに其も無い、のみならず其處ら一面取拂はれて高塀續きに成つてゐる、聞て見るにも一寸其樣家は無い。私は服を廢つて今一度見なほした、けれども折ふし通行人も無かつた。尋ねる便りも無かつた。此邊は本願寺の都合か若くは市政上取拂ひに成つて珠數屋も其宿も然るべき代地に引越したのと思へば夫は昔通の變遷であるけれども、其時は私にさう理智的に考へられなかつた。珠數屋や宿やがあつた時はもう百年も昔の事で、子孫が死絕ねて自然に亡んでしまつたものゝやうにのみ考へられた。私は北上尋ね求めて彼等家族の健在であるのを見て失望する程の賢こさを持たなかつた。

御前通りを眞直に少し行くと油の小路である右に下ると見覺のあるやうな家もあり全く未見の家らしいのもあり異樣な感じに打たれた、行き行くと右手に牛肉屋がある、此の牛肉屋は二十七八年前と同じ場所に在るので、私は殊勝にも能く續いて居るものと嬉しかつた。此の牛肉屋には學校に居た時分能く來たもので、或時は月の一日から二十二日まで毎日夕飯を食べに來た事さへあつた。で先の宿で失望したものを此處で取返す積りでいそ／＼として立入つた入口が實に穢苦しかつたのに上つた部屋は一層穢なかつた八疊を二つに打切つたやうな間取りで、疊は鼠色に汚れた上處々に火を落したらしい燒焦がある、座布團さへ其に相應してジミ／＼と穢れて居た。其れは田舍町でさへ此頃見受けぬ程ののであつた。私は幾度か逃出さうとして立ち騰けた、それでもまだ六條を立去るのが心殘りで、斯な處からでも昔の空氣を引出さうと強めた。そして私は此の部屋が今少し廣かつたやうに思つたりして居ると肉が運ばれた、見ると其が又馬肉としか思はれぬ紅いもので一寸手が著き兼ねた。それでも此のみは昔ながらな味噌を見ると、今まで挾みかけて居た異心を此の味噌で隱して牛肉をくるみては旨からぬ鋤燒に昔の味を懷やうと強めた。そして又進まぬ口に麥酒を呼んで現實を忘れやうと強めた然し待遇に出た女中が又折角の私の幻覺をまんまと醒して了つた。彼は眼の邊りに皺をたゝへた年をして白粉白いものを塗り、著るしく居を染めて居た。此は田舍の飯盛などを想像せしむるものであつた。其でも私は彼の御前通りの昔の宿の事を忘れられず問ふて見た、彼女は果して『知まへん』と答へた。此處の家は隨分古いだらう、俺は三十年許り前に能く來て知つて居るが、と聞くと『ヘーそーだつか、旦那はんが其たい云ふてはります』と馬耳東風とは此事である。私は是以上此處に居る根氣が無かつた。

停車場に行くともう上りの列車が待受けて居た。遁たとしく乘込んで一息してから私の夢は覺めたのである。私は急湍の如く落下るが約束の運命を、愚かにも停止させて見やうとしたのであつた。矢張昔の宿が見つからず、昔の肉屋が狹く穢なくたつたのに價値を見出さねばならなかつたのである。

遠山雪 湊汲左氏筆

日報 新年詩壇

遠山雪恭賦 總監部 近狂生
東風吹度曙光加。八朶芙蓉映紫霞。卽是神州靈秀色。映來御苑拵精華。
評曰 綴景宏潤、何等雄渾、

同 上 白須 桂卿
瑞氣藹然天一方。四民治祝聖恩長。瑤花的皪遠山頂。映帶稜威春有光。
評曰 華彩赫燿

同 上 布川 水香
琅郭前低千似岡。新寒瀉處近斜陽。捲簾遙望鴟鵄外。殘雪天邊皎有光。
評曰 瀟灑雪後遠景描寫極精微

同 上 內田 六圃
遠山日上一天晴。備目玲瓏雪色淸。豐瑞入歌千萬戶。洋洋聲頌昇平。
評曰 深得頌意

同 上 江原 如水
突兀淸姿聳碧空。年新古雪尙玲瓏。芙蓉合沓皇圖固。長白透迤蛇勢雄。仙女擣衣雲曳裾。天孫執鼓氣揚虹。呵毫更寫崑崙大。三嶽宛然吟望中。
評曰 摛來東洋名嶽、筆力雄健、結構亦妙。

同 上 小永井槐陰
遊宦悠悠天一涯。蓬門又過惡風吹。捲簾遙望遠山雪。廟霑微吟樂歲詞。椒酒難甜猶可酌。鬢絲漸細未成衰。醉來自笑童心起。漫伴兒曹競鶏嬉。
評曰 純乎性靈之詩、不加雕飾而妍

日報歌壇

京城 狭嶋 湖路
圖らなる君の瞳の美はしと禁せられしを又口にしぬ
逢ふ事の遠ざかりゆく悲しさに恨みつのれり冬の夜の風
忠兵衛の終りを知れどサッポーの嘆きを知れど捨て得ず戀を

京城 鈴木古都子
山脈の高き限りをしらたまに變へてはろ／＼春は來にけり
雪ばれの空に聳ねて遠方の山脈白くかゞやけるかな

新債券六十五回
一等割增 貳千圓の樂しみあり
月賦賣 最初申込(十ケ月拂込 一ケ月拂壹圓八十錢次回毎月二圓廿五錢宛四回拂込)
卽賣 一通 拾圓參拾五錢 (十ケ月拂込一通壹圓九十五錢次回毎月壹圓宛九回拂込)
一等割增 四千圓 (一番二號一通三組) 當籤の樂みある組賣あり
卽賣 貳拾五圓也
月賦賣 最初申込(十ケ月拂 六圓四十錢)
本月十五日發行(當籤後一月十五日限り抽籤)
大阪市西區四貫島町五番地(六十五回初回大抽籤來る三月一日)
勸業貯蓄債券賣買 建部商店債券部
振替大阪二八〇八〇番 電話土佐堀一六三九番

昨秋來木材類(原木板材挽材小割)共鴨綠江産及び內地産共價格漸次昻騰致候に付當地組合販賣價格從來の値段より一割五步値上げ致候間此段謹告仕り候也
大正六年一月
仁川木材商組合

精力を主義とし不老を理想とする靈藥を召し上れ
高麗人蔘精 京城淸進洞百十七番地 朝鮮蔘藥研究所
人蔘エキスの御愛用は品質の純正優良にして効能顯著なる高麗人蔘精に限る (二十五錢 六十五錢 一圓二十錢)
市內特約販賣店 明治町二 淺川商店

防寒の設備周到 玉突其他の娛樂機關あり
五龍背溫泉 主人 八幡たま
新義州より汽車賃往復四十錢時間僅に三十分にして達す

京城
朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
振替貯金口座 京城三三三番
電話 一一〇六、一二六〇、一一六一、一二六一

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 局電話九七三番 振替口座京城〇〇四番

新築移轉
明治町二丁目 (元川崎病院 京城大正醫院下 横前)
產科婦人科專門
中央婦人病院
(手術室病室各等完備)
院長 衣笠茂 電話二三四〇番

最新刊
書名	著者	定價
詳解漢和大字典	服部宇之吉 小柳司氣太 共著	二、五〇〇
大亞細亞主義論	小寺謙吉	三、八〇〇
茶道寶鑑	宮崎幸麿	持九〇〇
卓上用日用和英辭典	山川均	六〇〇
債權者の法律顧問	法律館	持一、八〇〇
商用はがきの書き方	清水正巳	八五〇
ペン手紙と葉書の書方	黑柳勳	八五〇
大正六年國民年鑑	國民新聞社編	五〇〇
世界攻防ダマサレヌ策	[illegible]	八〇〇
身心鍛錬健康禪	丸山小洋	五〇〇
我軍國主義	成澤茂周	六八〇
大英魂の表裏	早川德次	八〇〇
トルストイ論文集宗敎論	相馬御風譯	一、三〇〇
河竹黙阿彌	河竹繁俊	一、六〇〇
白綾集	長田幹彥	九五〇
お伽芝居十八番	巖谷小波	一、二〇〇
小說八千代集	岡田八千代	一、二〇〇

大阪屋號書店 京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城一五七三番

新春のお寫眞は南大門通の京城寫眞舘にておうつしあれ 技術優秀・價格低廉・室內如春

京日案內
普通 一回前金一行五十錢
番外 一回前金一行名一圓
▲申込後中止の節は料金返戻せず

◎代診生及見習看護婦募集希望者は履歷書携へ來談あれ 仁川 小倉病院 34
◎貸金 商人又は官吏の人に信用貸金秘密に取扱ふ 京城太平通二丁目八九 原田古物店 36
◎永町一丁目三二元福井館跡を居抜の儘格安にて至急讓渡したし希望の方は御來談被下たし 35
◎讓店 賣藥化粧品小間物雜貨業にて現に有利多望の老舗なれ共都合上讓渡す(姓名在社) 40
◎寫眞入門生 普通敎育を受けし十七八歲の者要す 武橋町 菊田寫眞舘 電話一八三番 19
事業大擴張に付 配達人至急募集 希望者は明治町二丁目町田新聞部に來談あれ確實なる保證人を要す 仁川本町 町田新聞部 23
高級外勤員募集す 本人來談 黃金町二丁目 共保生命京城出張所 31
◎礦物定量分析 太平町二丁目二二五 電話長三四四 朝鮮公論社左横小路 坂元分析所 38
△外事社員採用 希望者は履歷書持參午前中來談あれ 京城鍾路一丁目二十二番地 日本國債債券株式會社朝鮮總支部 37
◎朝鮮語科 新學期三ケ月修業 ◎英語科 各級補缺募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會 12
代診名・藥局生名・看護婦及見習生若干名採用す本人來院の事 仁川 佐藤病院 29
解雇 店員 松岡良平 右者今般解雇致候間今後當店に一切關係無之候 京城本町一丁目 大和軒 22
再診療開始 一ケ月間再診療開始す患者各位の希望に依り六日より 谷川町安 肛門病注射專門醫院 東病院內 京城長 9
はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御相談に應ず 明治町 柔術道場 1

○總ての障碍を一掃す
佛國首相ブリアン氏の聲明

佛國首相ブリアン氏は在羅馬ルマタン紙特派員に聲明して曰く我等今回の旅行は頗る有効にして事毎に希望通りの結果を齎らせり近來協商國間に動もすれば面白からざる障碍の報せらるる事ありしも今や此の會合に於て協商國の協同動作を妨ぐべき總ての障碍を排除するを得たりと(巴里電報)

○協商側會議と希臘
羅馬來電＝協商國側代表者會議に於て決定したる主要點が軍事に關するものなる事は勿論なるが希臘の代表者が此の會議に參加せし爲め從つて對希臘問題も協議する所ありし事確實なり尙伊國の各新聞紙はサライユ將軍の統率せるサロニカ軍を安全ならしむる爲め大に努力すべしと要求し居れり(巴里電報)

○聯國對希回答要求
倫敦タイムス紙は報じて曰く我社の知る所に依れば羅馬會議に於て聯合國側より希臘に送るべき連名通牒起草せられ雅典に送附せられたり聯合國側は此通牒を以て以前交附したる一切の要求全部を四十八時間内に速に回答せん事を要求したるが如し(倫敦電報)

○注目すべき米大使の演説
華盛頓來電＝米國政府は電報を以て駐獨米國大使ゼラード氏に對し在伯林米國商業會議所員會に於ける氏の演説を報告せん事を要求したり新聞電報に依れば氏は其の席上に於て米獨間の關係は戰爭開始以來今日の如く親密なるはなしと演説せりと(倫敦電報)

○黎總統の時局談
青木中將顧問招聘は事實

黎總統は八日謁見せる某外人に對し下の如き時局談を試みたり曰く現內閣の維持は責任內閣の實を明にせしむる事は言ふ迄もなきが既に內閣として議會を有する以上は今日英國の制度と同じく議會に對して責任を負ふは當然なり余個人の意見としては支那の改革は第一に敎育を完全ならしむると共に新智識を要路に擧るを必要とす又外交の事に就ては最も注意し偏頗を避け國交は益々親善を期せざる可らず財政上に於ては外資輸入を歡迎すべきも外資を政治上に濫用するを避け鐵道敷設其他實業上の改良費に當てざる可らず青木中將を顧問に招聘するは事實なり唯國務院と全然關係なく總統府顧問として招聘しなば世間の誤解を招くが如き事なかるべしと云々(北京特電)

○第二徐州會議と革命
孫文、岑春煊等の革命計畫說

馮副總統の賀莚に參列せる段芝貴倪嗣沖及び各省代表者は張勳主催の下に第二次徐州會議を開き居れりとの情報及び孫文岑春煊等革命を起すべく浙江に赴きたりとの情報北京政府に達したるより政府にては目下其の眞相を確め居れり(北京特電)

▲徐州會議目的
張勳の主催に係る第二次徐州會議の目的は如左

一、國會解散 二、約法修正 三、現內閣改造 四、總統府の改革 五、不法議員の處罰

馮國璋は右に對し自己の意見として徐州會議に反對の意を表せり是れ馮氏が張勳に反對の爲めなり(北京特電)

○鄭家屯に特派交涉員
同時に裁判廳を置かんとの議あり

鄭家屯は東蒙の關門にて今後日本との間に交涉頻起すべきを以て支那政府は同地に特派交涉員を置かんとし張督軍も之れに贊成したるが候補者には駐日支那公使館參事官鄭崇傑氏の呼聲高し又政府は同地に於る日本領事の裁判權行使に對抗する爲め獨立の裁判廳を置かんとするの議あり(奉天特電)

○慶應義塾へ下賜
長き過にては今般慶應義塾擴張(醫科大學新設)の擧を聞し召され十日左の如く御下賜金の御沙汰ありたり(東京特電)

金三萬圓 慶應義塾へ

○文武官陞叙
十日午前十時宮中南溜間に於て文武官華族三百二十五名に對し位階陞叙の御沙汰ありたり中重なる者左の如し(東京特電)

正四位勳三等子爵 永井尙敏
正四位子爵 牧野忠良
正四位勳二等法學博士 金井延
正四位勳二等醫學博士 隈川宗雄
正四位勳二等文學博士 坪井九馬三
正四位勳二等理學博士 佐々木忠治郎
叙從三位(各通)

○經濟實行委員會
十日午前巴里經濟會議決議實行委員會の發會を行ひ寺內首長より一場の訓示ありたり(東京電報)

○三黨首會同か
寺內首相は近日中自ら主催となり憲政會、政友會及び國民黨の三首領會議を開く可しとの說あり議題は支那問題なりと(東京電報)

○床次氏總裁說
床次竹二郎氏は鐵道院總裁たる可く目下政府より交涉を受けつゝありと(東京電報)

○赤塚總領事著任
赤塚奉天總領事は九日夜著任せり(奉天特電)

○間島天寶山市街開放
大興合名公司の經營する間島に於ける天寶山礦區は其後事業着々進行し在住日鮮人は日に增加の勢を呈せり同鑛は從來採掘せる鑛屑のみにても莫大の數額に上り然かも此內には銅分を含有せるを以て前途甚有望視せられ慧利なる商家は續々來住しつゝあるを以て同公司は昨年夏頃同鑛區に市街建設を計畫せし處玆に端なく支那官憲と一紛議を發生せり當時の陶道尹は地上權と地下物との區別論を以て公司に肉薄し來り數次交涉の結果終に地上權は之れを支那側に讓歩する事に落着して市街は支那地方官より開放を行ふ事となれり此に於ては昨年十二月下旬延吉縣知事は委員を派して先づ八十五區を放出せるが此內日鮮人の家屋の現在する者三分の一を占め猶本年三月以後には更に續々適當の地積を開放する筈なり而して該處の保安としては從來地方警察分駐所ありて鑛山及び臨內住民の治安保持に任じ來りし處今や該鑛山も正式開掘の時機に達したるを以て支那政府の鑛山章程に據りて鑛山警察署を設立し其經費は鑛山より上納せしむるも警務上の權力は支那地方官に歸せしむる事となり本年一月より之れを實行し其名稱を天寶山鑛山警察署と改め所長一名、巡士五名は縣知事に直屬し其每月經費大洋一百元は該鑛山より支出する筈なりと(間島)

○滿洲の柞蠶糸
製糸工場の計畫

滿洲に於ける柞蠶の產出は大豆其他の特產物に繼ぐ可き產業の一として注目せられつゝある所にして滿鐵の中央試驗所初め各處に於て柞蠶製絲に關する硏究を重ね在來の柞蠶絲に改良を加へ益々同業の發展を企圖せんとせられつゝあるが安東縣新義州等に於ても個人として邦人の同製系工場を起さんとするものありと雖も在來の柞蠶飼養方法を改良して優良なる柞蠶を得んとするの計畫は滿鐵中央試驗所の外個人として硏究しつゝあるものは從來頗る稀なりき然るに滿鐵沿線萬家嶺の某氏は數年前より是が硏究に着手し同地附近の山地を跋踏して柞蠶飼養方法並に氣候風土の適否を調査したる結果同地附近を以て最も柞蠶に適當なるを確め滿洲野蠶公司なるものを設立し獨力經營したるが爾來著々として成功し氏の飼養したる蠶種は最も良好なるものとして內地方面にも歡迎せられ盛んに蠶種の交換を希望せらるゝに至り滿鐵產業試驗所に於ても氏を顧問に依賴し蠶種を開始する等柞蠶飼養に關し最も卓越せる經驗を有するに至れるを以て今回內地に於ける某資本家の援助を得て滿洲野蠶公司を擴張し關東州內に於て柞蠶の飼養並に製系工場を起すべく各方面調査の結果沙河口水源地附近の山地を以て最も適當なるを認め都督府に出願の上三百餘町歩の柞樹林を設く可く來年度より著手の豫定にして既に柞樹植付の準備中なるが同時に大連に於て製系工場を起し柞蠶系を製出すると共に將來飛行器の機製に使用せらるべき野蠶絹をも製造すべき計畫なりといふ(大連)

○製煙事業殷賑
輸移出額百萬圓

朝鮮の製造煙草は原料葉の改善と製造術の進步とに依り近時外國市場に於て著しく聲價を博するに至りたるが就中支那方面に於ては戰亂の影響に基く外國製造業者の困憊に依りて益々之が需要を激增し朝鮮製造煙草の販路は異常の擴張を告たり今大正五年一月以降十月末に至る輸移出額は累計六十三萬餘圓を算し之れを前年同期間の二十七萬八千餘圓に比すれば三十五萬圓即ち十二割の激增を示せるのみならず十月以降は未だ明確の數を得ざるも亦た多大の增加を告げ其の輸移出年額殆ど百萬圓に垂んとするの狀況に在りといふ、而かも製造業者の實情を聞くに支那方面よりの注文極めて多鑛にして現在の製造力を以てしては到底其の需要に應ずる能はざるより各製造家とも何れも工場設備を擴張し益々其の製造力を增大す可く昨今計畫を急ぎ居れるが既に工事に著手せるもの亦た鮮からず此の趨勢にして推移せば本年は製造力に異常の增大を見る可く輸移出額の激增亦た思ひ半に過ぐるものある可し

○日滿聯絡と露貨
日滿聯絡貨物引換代金換算率中東淸及び烏蘇里線著の場合は一月五日以降當分の內日貨百圓に對し露貨百八十留とする旨鐵道局に通知ありたり

○丁抹電信汽船入港
丁抹電信汽船グレート、ノーザン會社所屬電線修繕汽船ストーレズクス號飲料水積込の爲め上海より八日午前九時釜山に入港同日午後出港せり(釜山)

○仁川移出米產地別
大正五年中に於ける仁川港より內地各地へ移出したる玄米及び中白米の產地別を聞くに京畿道九萬九千七叺、黃海道三萬九千六百叺、忠淸道六萬二千八百七十四叺慶尙道一萬二千四百七十八叺全羅道二萬九百叺平安道一萬三千九百八十叺合計二十四萬八千八百三十九叺なり(仁川)

○价川輕鐵運輸成績
三井の經營に係る十二月下旬价川輕鐵の運輸成績を聞くに人員一千九百四十一人荷物斤量一千二百十一斤貨物噸數一千七十八噸客車收入六千七圓八十五錢貨車收入五百三十九圓三十二錢合計運輸收入一千百四十七圓十七錢にして哩當收入五圓六十六錢なりと云ふ

○鮮銀總裁と仁川
美濃部鮮銀總裁は既報の如く十一日午後六時より仁川官民有力者多數をうろこ樓に招待し就任披露の宴を張り十二日歸京すべしと

○大倉氏の旅程
入京中の大倉喜七郎氏は夫人同伴十三日午前九時十分南大門驛發列車にて北行夫人は本溪湖へ又喜七郎氏は沙里院より黃海道遂安金山の視察を行ひ廿日迄に本溪湖に到著の豫定なりと

○大倉氏の招宴
入京中の大倉喜七郎氏は十日午後六時より大倉組關係者及び京城記者團の重なる者五十餘名を千代本に招待し盛宴を張りたり席定まるや大倉氏の挨拶に次で原田朝鄉社長來賓一同を代表して謝辭を述べ終つて宴に移り主客十二分の歡を盡して十時過散會せり

○聯絡船引き返す
十日朝下關發聯絡船對馬丸は海上風波の爲め途中より引返したるを以て郵便物其他一日延著すべし

○京畿隊署長會議未定
來る二十三日より三日間憲兵隊司令部にて開催さるゝ全道隊署長會議終了後に於て京畿道管內隊署長會議を開催すべきや否は目下の所未定なりと

○井內局長新任挨拶
朝鮮銀行新任調査局長井內勇氏は十日各方面を訪問新任挨拶をなしたり

○西村滿鐵課長通過
西村滿鐵運輸課長九日南大門驛通過安東に向へり

人事消息
▲富永二二氏(平南道第二部長) 九日朝入京深澤司法部事務官邸に滯在中
▲野手耐氏(鎭南浦稅關長) 十日夜入京不知火へ
▲桑原咸北道長官 十日夜入京巴城館へ
▲小川平吉氏(代議士) 同上
▲持田國太郎氏(大倉鑛山主任) 同上朝鮮ホテルへ

◎南言北語
獨帝は講和を拒絕せられて大に立腹して居るが▲而し此の拒絕の爲に獨逸は注文通り其の目的を達して居るではないか▲何となれば今回獨逸の公然的講和提出は其の國民の財嚢と然して國民の血を更に要求せんとした伏線であつたのではないか▲獨逸が必ずしも窮餘の策ではない幾分か餘力の存する其の餘力を更に有効ならしめんとする主なる目的であつたではないか▲一體國際的大戰爭は長年月に渉るのが常である▲餘り早く終結する時は忽ち再び爭端を開き遂に三十年戰爭や百年戰爭など長期戰役とならざるを得ない▲故に世界永遠の平和を求むる爲には交戰者は出來得る限り永く戰爭を持續せねばならぬ勿論交戰者に取りては最大苦痛ではあるが世界永遠の平和の爲ならば其の犧牲位は甘せねばなるまい▲よんば食糧の缺乏を訴ふるとて今日の獨逸を以て愈々の行詰りと見るは大きな見當違ではなかろうか▲講和拒絕後に於てこそ初めて眞の歐洲戰爭となるのである▲獨逸の食糧缺乏は今迄多々傳へられた事であつて無論英國の海上封鎖で苦しからう▲而し種々硏究の結果巧みに其の缺乏を補充して行くらしい▲先達も戰場に出て居る將卒に豆腐を食はせやうと計畫し▲某博士を瑞西に送つて日本人から其製法を硏究せしめたと云ふ事もあるまだ〳〵却々油斷は出來ない

○露國政界益々暗澹
露曆新年以後の推移果して如何

露國政界は今や極端に暗雲漂ひ明日をも測られざる狀態に在り多分此暗雲は來るべき新年迄(露曆元旦は陽曆一月十四日に當る)は散せざるべし尙ほ聞く所に依れば官僚界にては現內閣をして其の權威を今日迄保障し居たるは唯一人のトレーボフ氏あるが爲なりと確言しつゝあり(露都電報)

○聯合軍慰問使特派
日本政府は聯合軍慰問使を歐洲各國戰場に特派するに決し之に要する經費を計上し追加豫算として議會に提出協贊を仰ぐ事に決定せりと(東京電報)

○鄭家屯回答
鄭家屯問題に關する支那側の回答は二三日中に爲すべしと豫想さる(北京電報)

○對議會打合せ
九日午後五時より永田町首相官邸に於て寺內首相を始め各大臣並に上原參謀總長、田中次長、島村軍令部長、山屋次長等會合重要事件に就き凝議する所ありしが問題は對議會作戰の必要上陸海軍豫算並に交戰友邦に對する軍需品引渡し等に關し答辯其他手續の打合せを爲し散會せり(東京特電)

○奉天より
▲吉林鑛業の富源 吉林省境內には吉省第一の森林あり其廣袤殆ど測量し難く斧鉞未だ入らざる狀……公子等には石炭鑛あり何れも鑛量豐富にして露領各處に散見するより地方人も屢次採掘を計畫したるが資……

……ば良好なる成績を收め得べしと

▲北滿航業の調査 支那側……上各江の航路及び一切現狀の確實調査を命じ且つ其擴張方法に對する……

……れが整理を終りて北京に發送し此次劃界は甚だ重大問題なれば各項記錄……

……商人張恩義なる者は鄭家屯に電燈株式會社の設立を計畫し交通部に出願……

……て著任せり而して矢田前總領事は事務引繼を終はり次第直ちに出發す可……

……解纜する諏訪丸(一萬二千噸船長關根豐作氏)より斷行すと(大阪)

腦病と人の運
諸君は如斯して不快なる腦神經衰弱を治療して多幸なる運命を開拓せよ

頭痛のする人
人は自分の運の好い惡いを神樣か何かの力であるやうに思つてゐるが之は大きな誤りであつて人自身が自分の運の神樣なのである。だから福の神も貧乏神も其人の中に住で居るのであつて決して他にあるものではない即ち、もしも玆に頭の惡い人があつて雨模樣や曇空の時はイヤに頭が重く日常も何さなく頭がヅキ〳〵するなぞと云ふ腦病頭のために口クに仕事が出來ないとすると。社會は此人を冷遇する。それに反して頭の好い人即ち健康の頭腦を有する人は仕事もどん〳〵捗るので社會が厚遇する。其處で『あゝ俺は何故運が惡く行くんだらう』と歎聲を發する事になるが、これは決して運が惡くなるのではない。自分で運を惡くするのである。此場合その惡い頭を治す事は即ち自分で自分の運を好くする方法なのだ即ち腦病良劑レーベンの發明者常持醫學士の二冊の治療書はその方法書に外ならない

記憶の惡い人
醫學士常持爲治氏は此二冊の腦病治療書を廣く社會に頒布してゐるが、それは何故であるかと云ふにつまり今云ふ世の『運の惡い人』を救ふために外ならないのだ。同氏はそのために其半生を費して苦心慘憺たる結果有名なる健腦新劑レーベンを發明した位である。一體今の世は腦神經衰弱時代と云ても好い位であつて男なら腦神經衰弱、女ならヒステリーの人が非常に多い。之は世の文明が進んで生存競爭が烈しくなるに從ひ殖へる病氣であつて。頭痛のする人など皆此病人である。『僕は近頃何うも胴忘れをして困る』なぞと云ふ人も此病氣にとりつかれてゐるのだ。ツマラない事をひよい〳〵忘れてゐる中は未だ好いが知らぬ中に病氣が進んで、やがては親しい友達の名を忘れたりする位になる。此點は學生なぞ最も注意すべき事であつて學業優秀の青年たるには何よりも健腦が大事である

夜眠れぬ人
腦神經衰弱の症候の中で最も苦しいのは夜眠れない事である。いざ床についたとなつても、さま〴〵な妄想が、あとから、あとからと湧て來て眠れない。眠らうと努力すればする程益々眠りかねてつまらない取越苦勞をしてみたり莫迦げた空想に追はれたりして、やがて一時の時計が鳴り二時の鐘を聞き終には頭が何かで壓されるやうに重くるしくなつて來る。途う途う夜が明ける……たまたま眠れば不愉快な夢に襲はれて冷汗が全身にビツシヨリと流れてゐると云ふ有樣。勿論翌日の氣分の惡い事は夥しい。それでも本人さへば病氣とは氣がつかずに『近頃は眠が冴えて困る』位で平氣でゐるのだから危險な事である。『本人自身で解らない』のが此病氣の特徵であつて本人の知らぬ間に病勢はずん〳〵進んで其結果半身不隨になつたり卒中で倒れたりする事になるのであるから本病者は何を置いても常持學士の『レーベン』を常用して二冊の治療書を讀む必要がある。それはハガキで申込みさへすれば無代で贈るのである

飽きつぽい人
夜眠れないために翌日頗る不愉快なのは云ふ迄もない事だが。それがために仕事が捗らないと云ふ事は其人のために何位不幸であるか解らない。『仕事に熱心になれない』と云ふのは此病氣の一症徵であつて、仕事をしてゐるもすぐ飽が來て晝中の眠氣を催ほしむやみと欠伸が出て何かの拍子に立上ると、ぐら〳〵と眩暈を感ずるなぞと云ふ。……ゝつてゐるのである斯かる人が社會に於て何れだけの活動が出來よう。云ふ迄もなく劣敗者たる運命に立到るのである。即ち斯る人は一日一刻も早く常持學士の治療法に從ふか又は其健腦劑レーベンの偉力に賴るかして速に全治する必要があるのである。レーベンは既に社會的に其價値を知られてゐるので玆に事新しく說く必要がないが岡田醫學博士を始め博士學士其他陸海軍醫諸大家が證明して第一に植物性藥であつて米麥を常食とする東洋人に適合し第二に腦の要素たるリンサンを多量に含んで居り第三にその製劑法が最新式で完全であると云つてゐるに依つても其社會的信用の程度は知れよう

優柔不斷の人
一體此病氣の人は俗に云ふ『ぐづ』であつて些と手紙を書くのも面倒、人を訪問するのも面倒で常にのわ切らぬ生活をしてゐるのであるが其中に自信力の缺乏、厭世の情なぞがわけもなくつのつて來て終ひには取返しのつかぬ運命に入るのであるから速に治療の法を講ずるが好い。何の手數はない只ハガキ一枚を認めて東京市京橋區弓町二十二番地、弘濟院、中南定太郎へ申し込めば常持醫學士の『腦神經衰弱療法』『精神療法』の二冊子は直に無代贈呈さるゝのである本書は容易な文章で何人にも理解出來るやうに簡單確實な療法が書いてあるのである。人は自分自身の醫者である。神である。自分の心掛一つで幸不幸は岐れる。無遠慮今直に申し込むがよい。

を以て開設の官有耕地を商租し支那人を使役して開墾に從事せば三年後には約二十萬畝の熟地を得べく又縣

道河、迷魂陣、［illegible］駝子等の諸地方には銀銅鑛の各鑛あり其他沙河、孝大楡樹、六顆松、吳［illegible］へ鑛質は支那側の調査に據れば皆良好なる由なり若し相當の資本家が支那人と提携し日支合辦として經營せ

利を獲たるに鑑み松花江、［illegible］浙江、嫩江等の航行權を極力擴張す可く此程交通部より黑龍省長に［illegible］れし露農鑛界に關する參考文書圖籍等種々調査蒐集中の處數日前愈々之［illegible］

其準備せりと

▲鄭家屯電燈計畫　奉天の［illegible］

▲新舊總領事著發　赤塚總領事は九日午後六時二十分安奉線にて［illegible］

［illegible］武裝　郵船會社にては愈々歐洲航路の武裝をなす由にて二十日午前十時神戶を

南山をして一大公園たらしめよ

▽更に眼を北漢山へ

世界の景園學上の最新傾向　固有の趣致を破壊するを排す

——林學士　田村剛氏の談二——

尙ほ又朝鮮では金剛山を以て最上の公園地と見立てゝゐる。金剛山の風景は東洋一であらう。これを廣く世間に紹介することは吾々の責任である。又一方これを利用して外客を誘致し

◆經濟的の　收利をも計るといふことは當局者の忽にしてならぬ問題と思ふ。こんな意味に於いて京城は又南山公園をも利用しなくてはならぬ。それには南山のみならず他日は北漢山迄をも公園地として經營する覺悟がなくてはならぬ。北漢山は正に京城の金剛山であるといふことを記憶して頂きたい。自分は

◆南山公園　地として廣く奬忠壇から老人亭更に城壁を出て南方龍山に向ふ山地一帶を選定したのであるが、これに關聯してどうしても北漢山を思はないでは居られない

昌德宮の秘苑や樂善齋の庭園慶熙宮の慶會樓や康寧殿等の庭園は宜しく古態を復舊して永遠に朝鮮藝術の保存に努めて頂きたい、其から貴族の別莊の庭園にも

◆純朝鮮式　のものが多く殘つて居るが、あれなども無闇と洋風や日本風を加味しないでどこ迄も朝鮮式を俥へて頂きたいと思ふ。私は南山公園の設計に就いても以上の方針を採つて努めて朝鮮固有の自然美と人工美とを發揮することゝして强いて不調和な外國の

◆造園法や　外來樹種をば排斥したのである近年獨逸の學者に風土心理學といふ新らしい研究を始めたその所論を聞くと文明が進歩して人類が自然を遠ざかつて來ると遂には逆に人類が自然を憧憬して自然に歸らうとする傾向を示して來るといふ事を說いて居る。その說を具體的に證明するものは輓近の公園界の趨勢であつて歐米文明國には庭園から都市の公園となり更に

◆市外公園　となりさては森林公園の時代となつて來た。何事にも世界一を誇らうとする英國では隨分大袈裟なものを始めた。數年前には米國の造園家はナイアガラの瀑布を國立公園の中心にとり込めとか、一萬四五千尺にもあまるパイリス峰やワシントン山或はエバーグレードの大沼澤を國立公園に編入しろとか

◆突飛な論　を立てゝ居たが、遂に最近にはレニア國立公園が出來上つた。此公園は一萬四千四百尺にも達するもので山頂は年中氷河で被はれて居る。海面上千尺の密林地帶から百花爛漫たる草原を過ぎて直徑千六百尺の噴火口に至る迄全部公園となつた。米國政府は今や六千尺の高所迄自動車道を通じその主線からは別に小徑を分派して如何なる所へも達せられる。國道は雪原を縫て氷河の附近數百尺の所へ案內する

◆婦人子供　でも金剛杖一本で容易に一日で山頂に達しうるといふ有樣である。世界公園界の現狀はかういふ風に發達して來た。私は日本でも富士や日光或は箱根又は瀨戶內海を公園にすることを力說したい

●五萬圓を拒絕した、故毒湛師

潭海和尙が惲つた有德の高僧

前妙心寺管長豐田毒湛師は老病にて九日朝示寂せり行年七十八歲（大阪特電）

入寂の說ある前妙心寺管長豐田毒湛禪師は臨濟宗の禪僧の中で人德最も高き全く

▼生佛こ　も申すべき高僧である彼の禪林で有名な大僊匡道、婆羅越溪、雷雪潭と並び稱せられた維新の豪傑僧として磊落を以て名高かつた潭海和尙の法嗣で二十幾歲かの時には美濃東光寺の住職になつた位であるから中々の遣り手である然し乍師匠さんの豪傑肌に引換へて

▼禪師は　青年時代より非常に綿密な頗る謹直な人で流石の潭海和尙も禪師丈には餘程遠慮して居たとのことである其一例としては潭海和尙は酒が好きであつて磊落な人であつたから時に依ると檀家で酒の馳走を受け酩酊して歸ることも度々あつたが何時も玄關で禪師の有無を小さい聲で高源室は居るかと聞き訊され居ると云へばどうか宜敷と云つてヅーツと隱寮に通り

▼謹愼を　表して居られたと云ふことである此一事を見ても禪師の高風が伺はれるのである禪宗の師家には機鋒の峭峻なのと德の高いのと二つに分れて居て機鋒の峭峻な名僧は隨分あるが德の高い高僧は中々少い禪師は其の德の高い方の近來稀に見る高僧である其宗風も鬱然として禪界を風靡し現

▼南禪寺　管長の務海和尙や虎溪禪堂の師家である無底和尙や井上侯の菩提寺を受持つて居る柏巖和尙などは其の法嗣で其子孫に至つては隨處に風を爲して居る妙心寺には四十二年頃南禪寺の管長から移られたので當時妙心寺には多少の波瀾があつて相當の

▼人物が　無いでは無かつたが所謂ドン栗のせくらべで之が統領となるものがなかつたので禪師を無理に南禪寺から引張り出して此難局に

潭湛和尙の筆扇面

當らしめた處がゴトツとも云はず立派に鎭まつてしまつた位である禪師は今迄南禪寺境內の南陽院に隱居をして居られたが此南陽院に就て禪師の高風の伺はるゝ逸話がある大阪の

▼素封家　丹治直次郞と云ふ人が或る時祖先の菩提を弔ふ爲め金五萬圓の寄附を思ひ立つて各宗の高僧と縱せらるゝ人を悉く歷訪して自分の氣に入つた坊さんに差上るとの悲願を立てゝ京大阪の各寺院を歷訪したが此人ならばと氣に入つた人が無いダン〜懸つて當時隱居をして居つた禪師に一度

▼相見し　て一時間と話をせぬ間に丹治氏は禪師が非常に氣に入つたので即刻五萬圓寄附の申込をした早速受取るかと思つた禪師は納は金はいられぬ、納は別に何處にも往からと思はぬけれども諸處方々から納を連れて往つて吳れるそして使賃も汽車賃も

▼宿賃も　悉皆先方で勘定して吳れるので錢一文なしに思はぬ處まで見物迄も出來ることしても吳れる居れば迷惑じやから外に良き坊さんを目付けて遣つたらよからうとの返事丹治氏も一寸面喰つたけれども强つて受取方を願つた、禪師はそれでは

▼其金で　寺を一つ建てゝはどうか丁度今廢寺にならうとして居るのがあるから祖先の菩提を弔ふには之に越した事は無いと丹治氏も禪師に萬事一任すると云ふことになり三萬圓ばかりで今の南陽院を建て殘り一萬圓は寺の基本金に一萬圓は山や田畑を買つて寺有にすることになり五萬圓が立派に處分されたが

▼丹治氏　は禪師に是非住つて吳れろとの願で其後禪師は南陽院に任せられることになつて居つたが多分此南陽院で入寂されたことであらう今年七十八かと思ふが禪師は一生を全く法の爲めに捧げられたので此高僧を失つたのは叢林の爲めに惜しむべきことである（後藤瑞巖師談）

●青島丸擊沈

敵潜航艇の爲に

神戶松昌洋行より伊國政府に貸付けたる汽船青島丸（三、五〇〇噸）はジブラルタル海峽にて敵潜航艇の爲擊沈されたり但し乘組員は無事なりと（東京電報）

●スチンソン孃

振袖姿で

神戶にて烈風中に飛行

スチンソン孃は十日烈風中に神戶に於て振袖姿にて美事なる飛行を爲し喝采を博したり（大阪特電）

●全鮮各地

河川結氷

▲臨津江及漢江　京畿道漣川郡管內を流るゝ臨津江及び漢江の各川は客月廿五日來の寒氣にて何づれも結氷し各渡船場は結氷と共に人馬の通過安全となれり

▲平南の淸川江　平安南道管內を貫流せる淸川江は客月廿五日より同大同江は一月五日より一帶に結氷し現在氷厚さ淸川江は五寸大同江は四寸五分にして船便は杜絕し人馬の渡涉自由となれり

●東京寒氣酷烈

氷點下五度に降る

十日朝東京に於ては氣溫俄かに低下して氷點下五度を示し寒氣頗る酷烈を極む（東京電報）

●海邦丸上級船員歸著

蘭領ブラタス島にて遭難せる海邦丸上級船員小林船長、橫山機關長、宮崎二等運轉士外三名八日夜香港より門司入港の南洋郵船北斗丸にて神戶に向ふ遭難談悲慘を極めたり（門司特電）

春場所大相撲懸賞

東京大相撲春場所は愈々十二日より開始に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

鳳　朝潮　（玉手山　大戶平　（眞砂石
栃木山　大錦　（對馬洋　兩國　（宇都宮
黑瀨川　大響　（大鳴門　千葉崎　（琴ヶ浦
九州山　源氏山　（綾川　大門岩　（駒泉

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中組合せなき時は夫れを除去して計算す▲〆切は一月十二日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必らず京城太平町京城日報社角力懸賞係と明記する事

＝賞品＝　一等（一人）銀側時計一個▲二等（三人）反物一反宛▲三等（十人）卷莨一箱宛▲四等（二十人）福袋日用品及化粧品入一個宛

●松本市の大火

長野縣松本市に十日午前大火災あり百五十戶燒失せり（東京電報）

●安東縣に天然痘發生

安東魚菜市場の魚商山本忠次郞（四〇）及び雜貨商山岡とめ（三三）の兩名は八日發熱して滿鐵病院に入院せるが九日夕刻に至り天然痘と確定せるを以て其筋にては同市場の一部に交通遮斷を行ひ同時に居住者百五十三名に對し强制種痘を施せり系統は忠次郞の雇支那人より感染せるものなりと（安東特電）

●熊を逐うて（二）

牛程ある黑い物

熊は何處に居つてもよく見付出します、それと云ふのは奴は雪でも降ると乾穴から出て日向りの好い岩の腹に行つて居ります、それも靜止として寢てても居ると一寸分りませんが奴に限つて

＝屹度四つん這ひ＝

に成つてしつきり無しに體を左右に振つて俗にお子守と云ふ奴をやつて居ります、又稀には立上つて相撲を取つて居りますが熊の角力と云ふ奴は却々面白いもので番付なども完まつて藥下とか關取りとか云ふものもちやんと極まつて居るかも知れません、斯んな按排で見付出すのは譯はありません、其の上熊に近寄るのは他の猛獸類に近寄るよりは容易です此方では一寸も熊の居る事に氣が付かぬらしく他所を見ながらドン〜進んで行くと熊の方では此方を見詰めながら相撲もせずお子守を爲たり

＝相撲を取つたり＝

して居ります此方が立止まるか又は熊の方を見るとすぐに身振りを止めて逃げ仕度をするが又此方で知らぬ頷をしてスタ〜と步み出すと五六間先きまで近寄つても平氣で遊んで居る其處を拔打式にズドンと遣るのです頭を狙つて打つのですが甘く命中しないと非常に物凄い勢で飛懸つて來ます殊に子供でも伴れて居る熊に成ると非常の勢で飛付いて來て容易に斃れませぬ、雪が降ると先づ熊の步いた足痕を蹈けて行きます、と必度行き當ります、殊に江原道の方の山に成ると

＝雪が四尺も五尺＝

も積りますから熊も遠くまで步いて行けません其の上に寒氣が酷くなると熊は凍傷を起して往々血染の足跡を印して置きます此んな時には占めたもので必度其の熊は手に入ります而し見て居ると可愛想なもので奴さん雪の上に坐り込んで手や足の掌の凍傷を嘗めて居ますね其處をズドンと遣るので譯はないのです、或る晚の事です私は金剛山中の小屋に寢て居ますと外の方で熊狩の朝鮮人がワーツツと非常の騷ぎです此の邊の朝鮮人は冬に成ると大抵山獵を爲し糊口しを付けて居るので熊狩連とは每日の如うに逢ひますが

＝此の晚の騷ぎは＝

甚かつたので私は一度寢たけれども又起上つて外へ出ると朝鮮人の話に猪の如うな大熊が何んでも小屋の附近で見れなく成つたので今追出す處だとそれから一しきり大騷ぎを爲たが遂々朝鮮人一同は引上げて終つた恰度月のよく照る晚であつた、私は銃を執つて其の處を一廻りして見たが朝鮮人の足跡ばかりで熊の足跡が分らなくなつて居るが其の中に確かに熊の足跡らしいのが在るので其れに付いて行くと頭の上でガサツと音がするから

＝不思議に思つて＝

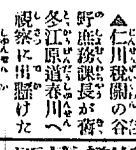
見上げると大木の下枝の處に牛程も在る黑い物が二つの目を光らして私を見詰めて居つた

◎鐵道武術部寒稽古　鐵道俱樂部武術部に於ては去る八日より擊劍柔道の寒稽古を開始したるが會員約四十名にして頗る旺んなり

◎柔道研究會寒稽古　本町署內京城柔道研究會に於ては八日より寒稽古を開始したるが來る十四日には鏡開きを行ふ筈

◎京中寒稽古　京城中學校に於ては九日より柔道擊劍共寒稽古を開始せり

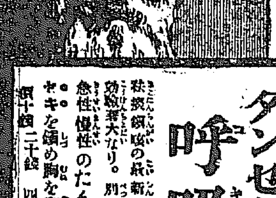
◎高島通譯官夫人　高等法院通譯官高島五八氏夫人たつ子は九日午後三時死去せるが葬儀は十一日午後四時半旭町大和町二丁目曹溪寺に於て執行す可しと



▲仁川稅關の谷野庶務課長が舊冬江原道春川へ視察に出懸けた▲春川と云へば朝鮮の巴蜀で山又山の奧であるから見る物聞き物珍らしいものばかり▲處が先方も亦珍らしい人間が來たものだと思つてか內鮮人の子供が谷野君を取卷いて付廻はる▲妙な事が在るものだと思うて居ると終ひには大人の朝鮮人まで谷野君を見てはニヤ〜笑つて居る▲谷野君氣に成つて堪らず彌り込んで居ると茶目が屋根へ上つて『ヤアイ熊ア見ろ劍を失してお瓢の劍を釣つてらアお可笑いなア』と手を叩く▲山の中の春川では海軍は元より稅關吏や水上署の短劍を知らないのも無理はない▲乘馬會のお歷々飯泉、亥角、中村與平、村田素一郞、權藤、中野有光、菱田、鈴木穆の諸氏が發企で丁巳乘馬寒稽古會といふのを作つて十日から二月九日まで實行する事となつた▲その規則といふのを見ると會員は每日七時半に馬場へ來る事一日缺席すると二十錢十分以上遲刻すれば十錢以上科罰される公務又は業務のための出張も缺席と見做されるといふのは少し壓制だが▲之れを寒稽古の終つた二月十日又はその他の都合の好い日を期して宴會を催す費用に充てるといふのはウマイことを考へたものだ

い病で困る人

永年難治の胃病も忽ち効能偉大なる家傳秘方の妙藥あり弘く同病者へ告げ分與す御困難の方は往復端書で申越あれ詳報す　兵庫縣美囊郡淡河下村　藤本初三郎

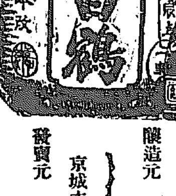


タンセキ改良劑　呼吸器散

秋揆（？）鋼咳の最新高貴藥を配伍せるを以て其効驗著大なり。別に丸劑させる呼吸器丸あり　急性慢性のたん、せき、症にタンを袪りセキを鎭め胸を和らげ安眠の効を奏す　壹圓二十錢　四十錢　本舖大阪東京丹平商會

株式會社　朝鮮商業銀行
資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金二十四萬百圓
京城南大門通一丁目
電話五五八番。六八一番　振替京城一六三四番
一般銀行業　倉庫業
銀行長　趙鎭泰
支配人　豐田明敬
南大門支店　電話五四四番　七〇二番　振替一五八二番
本町支店　電話二一九四番
仁川支店　電話八四九番　振替一〇六二番
平澤支店　振替一六〇六番
東大門出張所　電話一八六三

大日本優等淸酒　ハクツル



品質純良　衞生無害
釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

外科　一般花柳病科
內科　一般皮膚病科
普通及隔離病室完備　診察夜九時迄
京城旭町一丁目（本通り左に入る）　島崎病院　電話二十三六番

『內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり』

大學目藥

商標　登錄

●定價金十錢廿錢（郵稅二錢）三十錢（郵稅四錢）大瓶五十錢（郵稅八錢）●各地薬店にあり　●大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基づきし貴重の製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其の外眼病一切に驚くべき効能あり▲十歲以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり

大阪北濱三丁目　參天堂藥房

內科　小兒科
京城日出小學校前　多々見醫院
入院隨意　電話九四〇番

怒濤の月

四十五 小林蹴月作 武内桂舟畫

煽動 『九』の三

『成程々々、その不審は、至極御道理です。その經緯をお話致せば、非常にお長いこつてすが、搔い摘んだところ手前の主人桑原權一郎と原町の北泉男爵閣下とはかねく\非常に別懇に致して居りますので、始終男爵邸へ出入致して居ります內に、絹代さんの哀れな境遇を聞き及んだのが原因らしう御座います。それから段々話に話が重つて參りますその許嫁の良人と云ふのは、昨年日光でお目に蒐つた青年畫家の倉松……即も先生と云ふ事が明瞭し

ましたので畢竟る所、主人桑原の義俠心から、貴方に此の事をお知らせして進せたら、乾度如何なる手段を運らしても、絹代さんを男爵の手から救ひ出してお遣りに違ひなからう、それには勿論公然と云ふ譯にはゆかんから、松崎、お前が俺に代つて旨く手筈を爲て上げるが好いと……ヘツヘツヘツ斯う云ふ命令が下りましたやうな次第で、聞く所に依りますと、絹代さんは貴方の事を戀ひ憧れてお在の餘り、到頭病氣になつて離れの茶室に寢て居らるゝと云ふこつてすから貴方が與質救ひ出してお遣りになる覺悟さへあつたら一切の事はなに朝飯前のお茶の子です』

飽まで如才のない松崎は、單に幸三郞の心を動かさしむるばかりでなく、什うしても否應を言はしめぬやうに、抑揚緩急物の巧みに持ち掛くる

のであつた。

玆に於てか、本來が正直で神經質で、それで加之に、藝術以外の事には、貧乏こそすれ、世間と云ふものとは殆んど沒交涉に育つて來た幸三郞は、ついふらくつと松崎の語を信ずるやうになつて了つた。‖賢は、一昨日の風雨の晩一度絹代に會つて、彼女が心の奥底を確かめやうと思ふ一念から、病軀を押して、人目を掠め、男爵邸の裏庭へ忍び入つたのであるが、此處一刹那と云ふ所で女中に姿を認められた爲め命からく\通用門の方から逃げ出して來たのである、その時、萬一の護身用にと思つて懷中して行つた西洋剃刀を椎の木の根元で取落した事も全然記憶のないではないが、狼狽の餘りそれを拾ひ取る遑がなくて、一目散に逃げ歸つて來た後から、我ながら染々と我が非常識な狂氣じみた擧動を悔ひ恐れて、母には勿論、親友の村山にさへ堅く固く口を噤んで、秘密に秘密を守つて居たのである‖所へ意外千萬にも、面識さへもない松崎が尋ねて來て、捏造上の相談に事寄せ自分を此處へ連出して來ての話であるから、一時はひよつとかしたらば取落して來た剃刀から足が付いて、警察か何かの諜者ではあるまいか知らとまで心を痛めた程であるが豈夫に然うでもないらしい事が分つて見ると根本から一目丈なりとも會つて見たいと覲つて居た絹代であるから、露骨に言へば、渡りに船の喜びなのである。更に進んで言へば、自分の方から松崎に頭を下げても、是非一臂の力を貸して貰ひたいのである、斯うなつて來ると初めは胸糞のわるいてかくした男だと思つた松崎の顏容までが、自然と義俠の神の權化かのやうにも見へ出して來たから可笑い。幸三郞は、終に松崎の掌に丸藥の如く丸め込まれて了つたのであつた。

『松崎さん、果して貴方のお語通りと爲れば貴方の御主人と云ひ、貴方の御親切に就いては改めて感謝せねばなりません、同時に又貴方の御意見に從つて將來の事は兎もあれ、絹代をその苦境から救ひ出してやりたく思ひますが、それには什う云ふ方法を執るのが宜いでせうかね』

『は、はあ、漸く私の眞意が御了解になりましたやうで御座いますね。方法は別に難しい事も何もありませんから、貴方が絹代さんに宛てゝ一通の手紙さへお認めになれば、それで宜いんです。それから先の手順は私が邸內に居り、先生は邸外の塀の下に待つて在つしやりさへすれば、雜作もありや爲ません。何でも彼の椎の大木を標準にして一直線に彼の通りの塀外が、最も足場が好いやうですから、それをお忘れにならぬやうにね。』

『そして松崎さん實行の時刻は?』

『左樣……、今晚と云ふ譯にもゆきますまいから、明日の黃昏時と決めて置きませう』

松崎は、もう事の成就したやうな、いとも氣輕な口吻であつたが、幸三郞は、流石に『然う旨くは』と、危むらしい面色。

巳の年頭に蛇の長廣舌 (一)

城南 瀆月生

巳とは蛇の略にして、蛇は虵の字に同じく、うねり行く貌なり。巳と已と己と書き誤ること多く、即ち巳は蛇己は自れ已は止むを云ふものにして、此間些の逾を許さず。元來世の人事と蛇との交涉は頗る多きが如く俗に所謂恐いもの見たさの理に反かず。此間即ち交涉なきに似て、交涉あるに非ずや。蛇は固と爬蟲類に屬し、體は圓筒形にして爬行す。暖帶及び熱帶生物にして、殊に島地に多く棲息す。我國沿岸島地は、河川の出水に伴ひ島嶼に漂著するもの多し名稱は『クチナハ』『ナガムシ』『オロチ』『ウハバミ』(蟒蛇)大蛇、へび、蝮(クチハミ)等あり。『クチナハ』は蛇形朽繩に似たるを云ふ。或は繩に似て口ある意かとも云ふ。巳は嫉妬の徵象にして、之を干支に配せば十二支の一となり。之を方角に配せば辰巳と云ひ。東南東を卯とし、即ち東南方辰巳を經て南を午と云ふ。之を季節に配せば、上巳、初巳、元巳、など云ひ。又は巳の日の神挑へなどゝ云ひ、三月三日は上巳の節句とて女兒ある家には雛を祭り白酒を饗す。之を時刻に配せば、昔時の所謂巳の刻とは當の四ツ今の午前十時を指す。植物に『クチナワ苺』(即ち蛇苺なり)あり。蛇床は『ヤブジラミ』又は濱人蔘とも云ひ。奥羽地方にては蛇の松火と云ふ。蛇木は『ヘビヤクシン』蛇結とは荊蔓蛇を結ぶが如く『カハラフヂ』に同じ。魚に海蛇、蛇魚あり、蛇魚とは鰻の異稱にして委蛇は鰌の異名なり。石に蛇紋石あり。飛白石、橄欖石の分解變質により成りたるものにして、綠色或は黃色にて白色の條痕あり。蛇皮に似て色暗綠にて美し。彼の石綿は此の蛇紋石、滑石中に現出す。又蛇含石あり、金牙石と同じ、又化石に蛇骨あり。農具の蛇腹は水揚の器具にして低き水面より高き耕地に水を踏み揚ぐるものなり。松本蘿堂の詩に、曲々村興落々家。炊煙幾處隔桑麻。一犁雨漲秧田水。閑却野塘龍骨車。即ち之なり。又蛇籠は竹にて荒く長く編みたる籠にして、石を入れ水流を堰き留むるに用ふ。大蛇の伏せるが如し、或は之を石籠と云ふ。蛇口は水を流し出す金屬製の口にして、蛇の口の如くに開きたるものにして、手洗又は噴水に用ふ。傘には蛇の目傘あり、昨年文展の『春雨に蛇の目傘』は人目を惹き。蛇皮線は琉球の樂器にて、胴をエラブ鰻の皮にて張り。又胡弓の起源は鼓弓と名け伶人に始まり。土人往之れを致して以て蛇退を避くるものとす。蛇退とは蛇は『へび』にて退は『マムシ』と訓す又紋所には蛇の目の紋あり。仕立の蛇腹は、左よりの糸と右よりの糸とを合せて伏縫にしたるものにして其模樣縫紋などの緣に左縒右縒の糸を並べ伏せて綴たるものにして。俚諺に現はれたる蛇は如何。蛇心佛口とは心惡しく口先のみよくすることを云ひ。又蛇に足なし魚に耳なし。盲目蛇に怯じず。藪つゝいて蛇出す蛇は寸にして人を呑む。蛇の道は蛇蛇に見込まれた蛙。卯辰の雨は巳にかゝる。龍頭蛇尾。蛇は一寸より其の賤を知り人は一言にして其志を知るとかや。

新刊紹介

▲實生活(新年號) 虛か實か金權政治の呼聲『鈴木梅四郎』超然內閣超然政黨『水野博士』天才は悔むべき不具者『高島米之』等(十錢東京市芝區伊皿子町四十二 實社)

▲住宅(新年號) 住宅研究雜誌にして日本家に對する私の注文『新渡戶博士』日本住宅に現はれたる家族主義と個人主義『橋口信助』等の外設計圖案集を附錄す(特價十錢東京市芝區琴平町一 住宅改良會)

▲寫眞タイムス(新年號) 天の香久山より見たる富士山、陸山雪、初詣り七福神、兩公爵家の結婚披露、佛國の前線、英國南東肥念日、歲暮所見等の外大山公の葬式及び岡崎寫眞、夏目漱石氏葬儀寫眞及びスチンソン孃の飛行寫眞等十數葉を收む(二十五錢東京市京橋區新肴町一八 日寫眞社)

商況

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米(十日)

	高値	安値	止め
四月限	一七八、六〇	一七八、六〇	[illegible]
五月限	一七八、〇〇	一七八、〇〇	[illegible]
六月限	一七八、〇〇	一七七、九〇	[illegible]

仁川期米

一五、[illegible]	一六、六五	一六、六五	一七、〇〇
一五、[illegible]	一六、五六	一六、八八	[illegible]
[illegible]	一六、六五	一七、〇三	[illegible]

▲依然保合 大阪期米の[illegible]八十二錢東京十一圓八十六錢大阪十二錢と入電に接し[illegible]九錢と採み合[illegible]十三錢と跳れ十錢と押したるも二錢と返して保合の裡に散會

▲後場の手無 [illegible]九千餘石の各千餘石に對し賣方も六千餘石四千餘石[illegible]各二千餘石[illegible]二千餘石等にて他は小口[illegible]

▲寡能く買ふ 後場同店より買上りたりとの事一面二千餘石の賣ありたるも注目を惹いたり 後場同店より買たる王數三千餘石に

▲保合岐れ如何 初立會後急遽暴騰を演出したる後大阪の一押しを[illegible]人氣は果して大阪の押し目を見せたるも見越し居りたる場合一向買り來る手もなく去りとて大阪の不多を眺めて買進む手口もなく[illegible]相場は小範圍内に保合[illegible]

十一圓九十錢等にて七八百俵出來たるのみ[illegible]は安値口なるも他の入津杜絕[illegible]して賣り匹せず[illegible]

▲恩津大豆七圓六十五錢海州大豆七圓六十錢等にて出來たり

十二月の三月[illegible]

平均	十三[illegible]
一節	十三[illegible]
二節	十三[illegible]
三節	十三[illegible]
値段	[illegible]
一月限	一萬五千八百石

御內意に依り謹製したる 純白 美顏洗粉

◇高貴方の御不自由

皆樣御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りましたに就て、其向々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感ぜられる方が多く、殊に從來西洋品をお用ひになつて居られた高貴方の御不自由はまた一通りでありませんでしたが、內國製品使用獎勵の聲が起つてから、先づ上の方々から其れを御實行のお積りで、段々と御檢査の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事でありますが、從來佛蘭西製の洗粉を御賞美になつて居られた高貴方の思召として、或筋から弊舖へ誠に有難い御內意が傳達されました。

◇有難き御內意

其れは完全な研究の機關のある美顏白粉本舖で、佛蘭西製の洗粉と變らぬ洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御內意です。弊舖では意外な光榮に感激して進んで御受しましたが、それには餘程研究を積まねばなりませんから兎に角相當な御猶豫を願つておきまして、研究試驗部に於て顧問丹波、山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智識を搾り、苦心研究數箇月にして、漸う是れならばと自信のある洗粉が出來上がりましたので、早速御試用を仰ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顏洗粉なのです。

◇美容術大家ルウ井ズ孃

今東京で、始終高貴の方々の美顏術と御化粧方とに召される名譽ある美容術大家マリー、ルウ井ズ孃は故國佛蘭西の巴里美顏術學校を卒業して日本へ來られ其の科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勸めるにつけて、美顏術上の特殊な料材はそれく\御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと矢張輸入杜絕以來誠に困つて居られたのですが、美顏洗粉が出來てからは、非常に喜ばれ、美顏術に美顏洗粉を用ひられるやうになりました。

◇何處が違ふか?

美顏洗粉 普通の洗粉と違ひ、皮膚の清洗劑と共に蛋白質、中性脂肪分、及び最近桃谷研究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に清白作用と言つて皮膚の新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も皮膚を洗ひ淨めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑かにし、美しい光澤を添へ、容貌の美しさを增し、更に續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行届いたものであります。殊にこの洗粉は、氣持がよい程色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお分りになります。皆樣、この御內意に依つて謹製した洗粉はどのやうな洗粉でせうか、挨くお試しなさいまし。乾度皆樣のお樂しみが一つ殖えます。

りん病 消渇で困る方多年の慢性も切手三錢送れ其良藥の詳細とくゆ 自宅で安全秘密に治す良藥あり 名古屋市南かじや町 武藤亀吉

朝鮮總督府許可 人參エキス 內用精 効能 神經衰弱、神經痛、老衰、麻痺、胃病、腸病、子宮病、營養不良より起る諸病の滋養強壯劑なり 外用精 効能 神經痛、僂麻質斯、切傷、火傷、凍傷、腫物、打物、凝山の時筋の張れたる等によし 定價 六十錢 一圓二十錢 二圓 四圓 人參直取引大販賣所 京城本町一丁目 朝鮮名產人蔘藥エキス一切 津村兄弟商會 人蔘製造本舖 電話 振替京城三五一〇番 一四八〇番 支店 京城 バザー一賣店 龍山支店 大邱支店 釜山支店 京釜線大邱停車 朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 龍山元町二丁目 京城本町二丁目 電話二五一一番 其他全道の藥舖に無之御地方の方は直接本舖に御注文次第迅速に發送可仕代金は振替に依る事が最も安全且つ御便利に候萬一本店支店共市內は御一報次第配達

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

瀨戶皮膚科醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀨戶潔 (電話二四九八番) 診察夜九時まで

標 飄水味淋 堺蔵島醸 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

富の道しるべ 一冊郵稅二錢 實價十五錢 京城太平通 京城日報社代理部

亡父葬送の際は遠路殊に極寒の折柄御會葬被成下御厚情難有奉感謝候混雜中尊名伺漏有之候哉も難計乍略儀紙上御禮申上候

大正六年一月十一日

父 和田常市 敬白

親戚一同

大邱浦項間自動車時間

上り 浦項發 一番 二番 ／ 下り 大邱發 一番 二番

	一番	二番
浦項發	前[illegible]	後[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
大邱着	[illegible]	[illegible]

大邱三笠町 電話一七七番 大塚農場自動車部 電話二一七番 大邱出張所

金泉醴泉間自動車時間

上り 一番 二番 ／ 下り 一番 二番
金泉發 尙州發 咸昌發 龍宮發 醴泉着
金泉電話四八番 ▲小荷物運搬仕候 金泉織居自動車支部

尼崎汽船 仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸 一月十日 日後四時出帆
○秀吉丸 一月十六日 日後四時出帆
○君が代丸 一月十二日 日後四時出帆
○神代丸 一月十二日 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 杉岡回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行
○立神丸 月 日後五時出帆
○小倉丸 月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○立神丸 月 日後十時出帆
○小倉丸 月 日後四時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、清津行
○第三平安丸 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
○第三平安丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天萬丸 毎月二日八日十四日廿日廿六日 午後十時出帆
釜山港埠頭 大池回漕部

大阪商船 仁川出帆

外航路及航路汽船の時は五分前を以て出帆 浦鹽航路を除く
○京畿丸 群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 一月十九日 後五時出帆
×安東丸 天智丸 ×信濃川丸 木浦、釜山、關門、長崎行 一月廿二日 二月三日 一月二十日 後二時出帆
信濃丸 群山、釜山、大連行 一月十八日 後二時出帆
○朝州丸 一月廿一日
▲大連丸 安東丸 一月三十日 一月廿七日 正午出帆
▲天平丸 安東丸 一月十六日 正午出帆
(京城、鎭南浦、浦潮不寄港)
▲平安丸 ▲蓬萊丸 一月廿四日 一月二十日 後二時出帆
(木浦、釜山、關門、神戶大阪行)
▲天智丸 大智丸 一月十一日 一月十二日 正午出帆
(上海、芝罘、大連行)
▲北陸丸 ×基隆丸 一月十六日 一月廿一日 後四時出帆
御注意 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇五五〇番 内國通運會社支店 京城切符發賣所

共同汽船 仁川出帆

阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店
第十二共同丸 芝罘、大連行 一月十一日正午出帆
朝鮮總督府命令航路 朝鮮鐵道主要驛にて旅客連絡輸送 阿波國共同汽船株式會社

朝鮮郵船 仁川出帆

本社 京城南大門通 荷客取扱店 松原運送店 (電話一七〇番)
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸 一月十五日 一月廿三日 一月十日 一月二十日 釜山發
○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 一月十七日 一月十四日 元山發
○昌平丸 一月十六日 元山發
○益德丸 一月十三日 釜山發
○江陵丸 每日 釜山發
○襄陽丸 每日 浦項發
○三河丸 一月十六日 釜山發
○統營丸 ○海州丸 ○慶寶丸 ○巨濟丸 每日 釜山發
○順天丸 三日目每二 木浦發
○慶興丸 一月十六日 木浦發
○慶興丸 一月十二日 木浦發
○公州丸 一月十五日 木浦發
○江原丸 一月十八日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 一月十二日 一月十八日 仁川發
○全州丸 ○錦江丸 每日午前 仁川發

日本郵船 仁川出帆

(大連行、秦皇島行)
○營口丸 一月十四日正午出帆
○淡路丸 一月十九日正午出帆
○砂崗丸 一月三十日正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部